京城日報
朝刊
發行所 京城府太平通一丁目三十一番地 合資會社 京城日報社
編輯兼發行人 高宮太平 印刷人 仲野屋輔

首相九段へ參拜
護國の忠靈に米英擊滅を誓ふ

【東京電話】東條首相兼陸相は三十一日午前十時半靖國神社に參拜、護國の英靈に報告すると共にその敢闘玉碎よく日本武士道の精華を發揮したアッツ島守備部隊の敢闘を偲び、併せて聖戰完遂の固き決意を誓つた、なほ島田海相も同日午後三時同樣報告參拜した

チッタゴンを強襲
敵機廿を擊墜破
陸鷲、附屬施設も爆碎

大本營發表(五月卅一日十五時) 帝國陸軍航空部隊は五月二十九日チッタゴン飛行場を攻擊し敵戰闘機廿數機と交戰、その十四機を擊墜せるほか、地上にありし六機を炎上又は擊破し附屬設備數ケ所を爆碎炎上せしめたり
我方一機未だ歸還せず

【イスタンブール卅日同盟】ニューデリー來電、印度派遣英國軍司令部は卅日次の公報を發表した
日本軍爆擊機隊は有力なる戰闘機の援護のもとに二十九日チッタゴン飛行場を空襲飛行場諸施設に損傷を與へ死傷者を生ぜしめた

北洋の護りは不動
一億、決戰に總力集中

【東京電話】山崎部隊長をはじめとする二千數百名のアッツ島守備部隊は眞に孤軍奮闘一旬にわたる米軍重圍のうちに壯烈無比なる皇軍魂をもつて玉碎し終つた、アッツ島上陸以來まる一ケ年、困難なる北洋の自然條件下不斷の敵空爆を忍びつゝ士氣いよいよ旺盛、五月十二日米軍の上陸以來寡兵をもつて十倍に達する裝備優秀の敵に對抗二旬にわたる敢闘ののち、一兵も剩さず全軍アッツ島死守の人柱となつた、一億國民はアッツ島守備部隊の文字通り示したその死守ぶりに深い感銘を捧げるとともに愈々苛烈なる決戰の日に處すべき新たなる決意に燃えたのである

敵はガダルカナルにおいて半歳の時間と二萬五千の犠牲を拂つたが、今アッツ島において重ねて二旬の時間と六千に達する犠牲を拂ふべく餘儀なくされた、敵が呼號する太平洋轉回のためには敵は常にそれに相當する莫大の損害を覺悟すべくガダルカナル島、アッツ島攻略戰は事實によつてこれを敵に教へた

太平洋に散在する島嶼海洋には皇軍不敗の布陣すでに完備し、その一つ一つはガダルカナル島におけるが如き又アッツ島におけるが如き壯烈なる皇軍敢闘魂が蹶起し一度敵がこれに接觸する時はガダルカナルにおける、またアッツ島における激烈なる反擊を覺悟すべく皇軍は最後の一兵に至るまでその戰略地點を確保し一兵と雖もそこに殘る限りの自由行動は全然これを許容するものではない、敵に今年は決戰の年であり南太平洋においては山本聯合艦隊司令長官の戰死を聞き今また北洋アッツ島における皇軍二千の玉碎を見た、アッツ島守備部隊の玉碎はもとより一大痛恨事であるが、もとよりこれによりわが北洋要衝の防禦は微動だにするものではない

さらに大東亞戰過程における一局所の起伏は大東亞決戰下われくの既に覺悟してゐるものであり、これに一喜一憂することは戰ふ一億國民のとらぬところである、山本精神を生かしアッツ島守備部隊の殉忠精神を繼承し決戰最後の大目標達成のため總力を集中し一億火の玉となつて奮起御奉公の誠を致すべきがわれわれの唯一最大の責任である

アッツ島戰況
米側も公表

【ブエノスアイレス卅日發同盟】アッツ島における戰闘終了については當初米國海軍省に公電なく米國の各通信社も日本大本營の發表に關する同盟通信放送をそのまゝ繰返したに過ぎなかつたが卅日正午直前に至り米國海軍省は次の公報を發表した

五月二十八日以來米國陸軍部隊はフイツシ、フツク稜線の東方ならびに北方にある日本軍と激戰中さらに五月二十九日拂曉日本軍はシカゴフ溪谷にある米軍の右翼に對し反擊を敢行した、但し出擊した日本兵は全滅された、現在迄の報告によれば日本軍の死傷者は多數に上つてゐる

一方海軍當局のスポークスマンは日本軍の攻擊が極めて猛烈であつた點を認め

アッツ島の戰闘は猛烈を極め日本軍は同島にある全兵力を糾集して米軍を攻擊した、日本軍の最後の一兵までも擊滅するには數週間を要するであらう、日本軍の損害は二千名以上に達した見込だ

と言明した

江防軍三ケ師を殲滅

【江南前線卅一日同盟】重慶軍の最前衞たる第六戰區官區西方巴山山系發岩附近において重慶軍唯一の精鋭と呼號する江防軍に一大鐵槌を加へて意氣軒昂たるわが精鋭部隊は連日の滿天候を冒して協力する海空部隊と緊密なる連絡の下にその猛擊を進め、廿七日渝陽西方十八キロ蘭牛嶺(標高七四〇米)上白渓、玉椎山などの陣地に據り頑強に抵抗する敵第十一師、第十八師及び第四十一師を猛攻、さらに樹林子の南方地區に布陣して猛烈に抵抗する敵數千を擊破、廿七日夜後十數回に亙り夜襲を敢行猛攻を加へ、又北上のわが精鋭〇〇部隊は廿八日拂曉には早くも附近一帶の高地を占領し山頂高く日章旗を翻へし山砲、追擊砲その他多數の武器彈藥を鹵獲した

この戰闘により天王寺、楊林子、蘭牛嶺、花石坂、永昌寺、張家洞と鷄籠四十キロにわたる敵の防禦陣地中央突破に成功し、さらに前進をつゞけ廿八日夕刻には早くも敵防禦陣地石碑、大米家坪(宜昌西方廿二キロ曹家畔)木橋渓(漁洋關北方四十五キロ)の線を突破した、蘭牛嶺東側より進擊の〇〇部隊は宜昌北方の十キロ北斗山(標高六八四米)に據る敵を擊破し、さらに廿日夕刻北斗山南側の陣地を粉碎し、一方蘭牛嶺突破の〇〇部隊はさらに敵第十八師、暫編卅四師、第三十五師その他多數の敗殘部隊を急追捕捉しつゝ廿九日午後敵の要衝たる渦家坂を突破し宜昌西方廿五キロ拘桐樹、卅五キロ三谷口の陣地に突入、これを占領し寒牛嶺および響岩地區に呼應し都鎭灣方面から洞江の急流を渡河した〇〇部隊は途中敗走の敵を捕捉殲滅し丹水河畔の州家口に進出、敵退路を遮斷すると共に敵交通上の要衝たる木橋渓を占領した

かくしてここに精強を誇示した江防軍三ケ師は響岩および寒牛嶺附近において全く殲滅された、なほこの殲滅戰に協力したわが陸鷲の活躍は廿七、廿八、廿九の三日間にわたり猛烈を極め廿九日には北斗山、三宮の敵陣地を粉碎した

護國の神靈ぞ本懷
山崎部隊長の遺書發見さる

【甲府電話】山崎大佐は北方出征に際し生家の後繼ぎであり兄弟として一緒に育つた從弟の示生村役場書記上野甲午氏(三〇)をわざわざ呼び寄せ一夜を同臥歡にふけつたが途中北海道から從弟に『最後が近いと判明した時に開封してくれ』と一通の遺書が屆いたので上野家ではこれを大切に保存してゐたところ卅日午後五時大本營發表の放送を耳にし『さては』と遺書を開封すると嚴肅ながら武人の面目躍如たる烈々たる字句が連ねてあり再び還らざる大佐の面影を偲ばせてゐる

遺書
北海道にて〇月
一、部隊の長として遠く不毛に入り骨を北海の野に埋む洵に本懷に存じ候、況んや護國の神靈として悠久の大義に生くる、偉なるかな
一、父祖以來の御厚情深く感謝申上げ候、なほ遺族どもは然るべく御指導願ひ度く候
上野甲午兄 山崎大佐

死して大義に生く
富永次官 山崎大佐を語る

【東京電話】氷霧の戰場アッツ島守備部隊二千數百勇士、山崎保代部隊長以下全員玉碎の卅日の大本營發表に一億國民は痛憤の拳を堅く固め仇敵擊滅、擊ちてし止まむの決意を更に固めたのであつた、最後の一兵もある間は斷じて鬼畜米軍にその自由を許さず皇軍の神髓を發揮し北海に散華した山崎部隊長の烈々たる氣魄は鬼神も哭かしめる壯烈なものがあり山崎部隊長と親交厚かつた陸軍次官富永恭次中將は卅一日午後次官室に記者團と會見次の如く語つた

自分と山崎部隊長とは明治四十二年九月から四十四年五月まで約二ケ年間市ケ谷時代同中隊同區隊しかも同室で居を共にした特別の間柄だ、昭和十四年四月山西省太原で逢つたのが直接面談の最後となつた、そして天長節の日アッツ島で認めた私あての手紙が最後の手紙となつた(別項山崎部隊長より富永次官宛の手紙)その後二、三度激勵の電報を打つたが最後に『從來の御厚誼を感謝す』と電報が來た、米軍の攻擊を受け守備の容易ならざるを察し直に今生の別れであると直感し暗く瞑然とした、山崎部隊長は悠々大義に生きんとする壯なる悲びの心境を以て死んでいつた、兵數裝備のすべての點からわが守備隊とは比較にならぬ優勢な敵を迎へ死闘に直面して救援派遣の要求は唯の一回もおくびにも出さなかつた、これは出來ないことだ、出來ぬ事をやり遂げた山崎大佐の心境にたゞ頭が下るばかりだ、某日友軍機が飛來し米軍を叩きつけたのに對し心底から感謝の旨をいつて來た、戰闘の餘暇折をみては部下に對し『生きて虜囚の辱を受けず』と訓示してゐたのはその覺悟のほどが窺はれる、山崎大佐は皇軍の戰勝を願ふこと切々たるものあり死は寸前に迫つてゐる時に再三敵の兵制裝備、戰法あるひは特徴を細かに觀察して一々上司に報告してゐる、餘程心に餘裕のあるものでなければ出來ないことで實に見上げたものでありそれらがすべて眞に適切有益であり將來の作戰上貴重な教訓である、大佐は沈着冷靜の氣魄鋭く、アッツ島では專守防禦、受動の戰ひであるが大佐は常に烈々たる攻擊心をもつて機をみては攻勢に出で敵戰力を消耗させてゐた、二十日間晝夜を分たぬ苦闘の末動けるものは全部重傷者も參加して最後の大鐵槌を下したのである、この逆襲に際して『今夜の逆襲の効果を飛行機で見届けるやうに』といつて來てゐたがこの一事をもつてしても如何に壯烈なものか想像される、山崎部隊長は祖國大日本の悠久性を信じ、自分が死んでも後には續いて來る皇國忠良臣民あることを信じ安んじて護國の神となつたのである、アッツ島守備隊の勇戰奮闘により敵に對して非常に日本軍を恐れさせまた長期間敵の艦船兵力航空力をこの方面に牽制して他の戰局におけるわが軍の戰果を大ならしめた偉功があり全員玉碎しても武勳は千古に香る、山崎大佐は素朴、沈毅、重厚の言葉つきに人に對しては同情心厚く常に謙虛な態度であつた、誠に痛惜に堪へず、國民とゝもに冥福を祈る次第である

畏し侍從武官御差遣
初の光榮に勇む若武者
陸の雛鷲に大御心

【東京電話】陸に空に陸軍の精鋭が倦まざる敢闘を續けて敵米英擊滅に挺身してゐる決戰下畏くも 天皇陛下におかせられては陸軍諸學校の教育につき深き大御心を注がせ給ひ、特に侍從武官を差遣はされて具に實情を視察せしめられるとの有難き御沙汰あらせられ、卅一日東京陸軍少年飛行兵學校が最初の光榮に浴した

大東亞戰爭下皇軍の赫々たる戰果のうちに陸軍航空部隊の武勳は軍神加藤建夫少將をはじめとして燦然と輝き敵陣營の心膽を寒からしめてゐるが、現下の戰況において航空戰力の強弱が直接戰爭の勝敗を左右する重大な要因をなしてゐることは萬人の齊しく認める所であり、この時陸軍の下級幹部たるべき少年飛行兵の上に特に注がせ給ふ聖慮のほどは拜察するだに畏き極みである

昭和十三年創立以來東京陸軍少年飛行兵學校はすでに多數の航空戰士を第一線に送り出し、わが陸軍少年飛行兵搖籃の地として夙にその重要性を知られてゐる所であり昨年十月には李王垠殿下の台臨を忝くしたが、畏くも侍從武官御差遣の榮に輝いたのは今回をもつて嚆矢とする、この日校庭には高田利貞校長、山本勝教育隊長以下全職員、生徒が威儀を正して待つ裡、午前九時侍從武官山縣有光中佐到着、一旦本部で少憩後校庭に設けられた壇上に上り御沙汰書を謹んで奉讀すれば、その一句一句が紅頰を張切らせた、雛鷲の心の琴線に強く觸れる、おゝこの感激この光榮われよくぞ陸軍少年飛行兵を志願せりと畏き大御心のほどに感泣る若武者たちであつた

聖旨の傳達が終れば、高田校長より『今般侍從武官を差遣はされ優渥なる御沙汰を拜し洵に恐懼感激の至りに堪へず、臣ら全生徒を率ゐて本校の使命達成に邁進しもつて聖旨に副ひ奉らんことを期す』の奉答文を奉讀、傳達式は滞りなく終了した

それより侍從武官は〇區隊に至り普通學として國語を習得中の生徒の勉學ぶりを視察、つゞいて〇〇における生徒の基本體操、銃劍術、教練さらに〇〇における兵器學勉學中の狀況を視察、最後に舍內巡視を行つて午後一時同校發歸還した

小磯統理一年の回顧 【3】
財政・金融
經濟隘路を打開
半島金融の新機構を確立

朝鮮總督府特別會計十八年度豫算は、小磯總統理を條る初の豫算として注目すべきものであるが追加豫算をも含む豫算總額十四億七千五百萬圓は、前年度に比して三億一千六百萬圓の增である、これは前年度增加額一億四百萬圓の三倍、大東亞戰爭勃發の十六年度豫算增加額一億八千八百萬圓に比しても約一億三千萬圓の增を示してをり、先づこの十八年度豫算額の急激な膨脹に決戰財政の全貌を窺知し得るのである

決戰年度施政の力點

この膨脹は殆ど新規增加額五億一千一百萬圓のためである、これは(一)當然增額の減少(二)節減、繰延、要求減額の減少額によつて差引前記の三億一千六百萬圓といふ數字に落着いたものである

いまこの增加內容の主要なものを見れば、半島經濟の隘路をなす輸送の增强を目的とする交通通信の整備に關する經費一億圓、前年度大旱害の結果全面的に惡化した重要な政治、經濟問題に轉化した食料對策施設に關する經費七千四百萬圓、臨時軍事費特別會計繰入七千二百萬圓、その他軍需に對する經費、徵兵制度實施準備、防空施設、朝鮮青年特別鍊成等時局對策に要する經費、重要鑛物增產に關する經費、生產力擴充に關する經費を中心としてをり、これらの點に決戰年度の施政の力點が集中してゐる

間接稅の大增徵決行

次に十八年度歲入豫算を見れば、所謂本源的收入たる官業及び官有財產收入の增加一億三千八百萬圓、非本源的收入たる公債金の增加九千三百萬圓、租稅の增加九千一百萬圓、その他歲入增加分を加算したものから前年度剩餘金繰入及び金資金特別會計より受入の減少を差引いた金額を以て、歲出總增加分三億一千六百萬圓を賄つたものである、このうち官業收入の增加は鐵道等值上、鹽、石油、煙草賣捌等による專賣收入の增加を、鐵道收入の增加などによるものであつて、租稅的性質を有するものである、更に租稅の增加は直接稅の增收のほか、內地の間接稅引上げに順應し、消費の抑制、購買力の吸收、並に國庫收入の增加を目的として間接稅の大增徵を行ひ、十八年度六千四百萬圓、平年度八千四百萬圓の增徵を決行した

この增徵の中心をなすものは酒稅、物品稅、遊興稅、遊興飲食稅であつて、十八年度右三目の增收合計五千八百萬圓である、以上同稅增徵の方針は奢侈的消費に高率の課稅を行つたものであるが、勞務者等の日用消費物資に特殊の考慮を行ひ、また內地に比して免稅點高きこと、稅率低きことに、朝鮮の特殊事情を織込んでゐる

しかしながら決戰下に於ける消費の規制、國民負擔の增加は當然のことであつて貯蓄增强と相俟つて戰時生活の一層の切下が必要とされるに至つたのである

最後に例年に比して公債金の增加が著だ高率となつたことを注目しなければならない、これは前年度公債增加額四百萬圓の廿三倍といふ數字であつて、公債增發によるインフレーションを極力避けんとしてゐた昭和十六、十七年度の方針から一大轉換をとげたものと解され、こゝに本年度公債消化に對する至大なる要請が現れて來る

朝鮮金融團の創立

金融面では小磯總督就任と殆ど同時に六月一日、內地金融新機構の確立に伴ひ、朝鮮に於ても金融統制團體令施行規則を公布、即日實施した

すなはちかねて總動員審議會に於いて審議中の金融團體統制令は四月十七日公布せられ、次いで五月十五日には金融事業整備令の公布を見、また日銀の改組戰時金融金庫の設立についてもそれく法律案が七十九議會を通過した

かくて大東亞建設の資金を供給すべき金融の新機構が確立され、從來の任意團體であつた金融協議會は茲に消滅し、新たに法的基礎を有する全國金融統制會が强力な一元的統制機關として誕生し、朝鮮においても六月十九日、朝銀、殖銀の二特殊銀行、貯銀、商銀、漢銀、東一の四行、第一、安田、三和の三支店銀行のほか金融組合會、中央無盡會社、東拓を打つて一丸とする朝鮮金融團が創立された、この日小磯總督は決戰下における金融團の使命につき、次の如く述べてゐる、凡そ戰時における金融機關の使命は、貯蓄の增强による資金の蓄積、國債消化の促進並に國防產業資金の圓滑なる疏通にあるは言を須ひざる所で今回新に發足を見たる朝鮮金融團においては自律力を武器とする指導統制により一層貯蓄報國を徹底して浮動購買力の吸收に努め、依りて得たる增加資金はこれを可及的重要產業資金に充當するため、產業界との緊密なる連絡の下に新に創設せられる共同融資の制度を積極的に活用し、以て重要資金の疏通に遺憾なきを期すると共に國債消化については猶一段の工夫を凝してこれが實效の擧揚に努むるの要ありと認む

金融團の使命はこの告示によつて明瞭である、朝鮮の金融界は小磯總統理の下にあつて先づ强力なる統制的整備を始めたといふべく、重點產業に對する融資の集中迅速化は臨時資金調整法、銀行資金運用令によつて遂行せられつゝあり、又た所謂强制融資制度によつて稼動的な融通も可能となつて居り、共同融資制の妙も利用されるのであつた、故に小磯總督就任以來の金融政策ともいふべきものは、何を措いても、大東亞戰下にあつて重要產業に强力圓滑に資金を供給し得るやうな機構を造りあげることを第一の目的とし、次に內地資金の流入狀況を睨み合せて鮮內資金造出力を高めることを第二の目的としてゐたものであつた

戰時金融金庫の代行

金融團の結成に引續き九月中旬戰時金融金庫業務を殖銀と鮮銀がそれく代理者として分擔代行することとなつた、戰時金融金庫は鑛工業生產擴充及重要產業整備等のため必要な資金であつて他の金融機關より融資を受けることの困難なものを供給し併せて有價證券の市價安定を圖る目的を以て設立されたものであるが、有價證券市價安定業務に就ては九月十七日朝鮮總督府令を以て朝鮮銀行をして代理せしめ、融資業務に就ては殖銀をして代理せしめ、殖銀業務に銀行法改正に順應した貸出制限緩和等の措置と併せて九月十九日附を以て殖產銀行令を改正、同金庫の業務を代理し得ることとした

この間七月一日には金融事業整備令が鮮內に施行され、朝鮮としては小磯總督就任前に一應の機構整備を終つてゐるので施行しても別段整理を斷行するやうな事はなかつたが、なほこれは將來の整備に適用され得べきものである、また最近內地における普通銀行の貯蓄銀行兼營が近く朝鮮に實施されるとゝもに目下取引所機構の根本的改革も近く實現するものと見られる

資金の效率的利用

以上の如く小磯總督のもとにあつて、鮮內の戰時金融機構は着々整備せられつゝあるが、資金の效率的利用と資金造出面に於ける問題について、小磯統理のもとに如何なる情勢を生み、如何なる對策が樹立されたかを見よう

資金の效率的利用の問題は(一)重點融資(二)公債消化の二點に盡きる、これらのものは資金動員計畫として一つの國家計畫の內容をなすものであるが、朝鮮に於ける重點產業が殆んど全く內地資金に依存してゐるため從つてその資金計畫は朝鮮自體としては關係する所勘きものである、ただ公債消化は鮮內に獨自の分野を有する、すなはち右に關し小磯總督は公債消化の徹底を幾度か强調したが、本年度よりは金融團が各金融機關預金增加額に對しそれぞれ普通銀行三割、信託會社一割、鮮銀七割ないし八割、貯蓄銀行四割、金融組合三割の目標を樹立し、一方昨年六月下旬より七月初にかけて賣り出された第三回大東亞戰爭國債五百萬圓を初めとし今日に至る國債賣出が極めて順調に進んでゐるのは周知の事實である

資金の造出と貯蓄

鮮內資金の需給はその約五割が內地市場に依存し殘りの五割が鮮內で造出される事情にあるが、この鮮內資金は第一に鮮銀券の發行、第二に金融機關の預金に依存する、そして鮮銀券の發行力は正貨準備と見做すべき第一準備は別としてこれを差引いた保證發行額を以て資金的發行力と見れば、その總數は昭和十七年末には十六年末に比し約一億を增加してゐるのである、かくの如く通貨の面で膨脹が行はれる一方、政府資金の撒布も著しく增加し、これに對する消費物資の增加を伴はぬとすれば消費の規制と貯蓄の增强は最も重要な問題となるのである

こゝに於て小磯總督は本年度劈頭初の道知事會議で『更に刷新簡素なる決戰生活樣式を普遍的に確立し、忍苦敢闘の精神を振起す』べきことを述べ、貯蓄增强に邁進せねばならぬことを强調してゐる

道義の確立を維持

本年度貯蓄目標に關しては、四月五日の第六回貯蓄獎勵委員會において、十七年度目標額九億圓に三億圓を增加し十二億と決定、十七年度貯蓄の實績は五月十三日、九億九千五百十七萬五千圓と發表された、目標額を突破すること九千五百十七萬五千圓といふ見事な數字である、しかし鮮銀調四月末鮮內主要銀行の預金額が、三月末に比し九千一百萬圓の減、貸出は逆に五千四百萬圓の增を示した事は注目すべきであらう、こゝに今後益々貯蓄を增强することを必要とする一つの契機が見られる、われらは一層生活を切下げ、極力貯蓄を行はねばならぬのであつて、この一段と緊張せる戰時生活を『道義の確立』といふ政綱によつて强力に維持せんとするところに小磯統理の眞髓が窺はれるのである

敵十四縱隊の包圍殲滅戰展開
早くも金針集へ突入

【開封卅一日同盟】豫東作戰によつて徹底的打擊を蒙つた敵第一戰區の殘敵はその後わが新作戰を恐れ戰々兢々たるものがあつたがわが精鋭部隊は卅日拂曉を衝き突如開封南方五十キロの新黃河中洲の金針集に蟠居する敵第十四縱隊約二千五百の包圍殲滅戰を開始した

【開封卅一日同盟】卅日拂曉殲滅作戰に進擊を開始したわが精鋭諸部隊は早くも午前六時には敵司令部所在地たる金針集に突入、また一部隊は敵司令部後方の河を渡る堤に進出、敵の退路を遮斷、潰走せんとする敵に對し、陸鷲の協力下に猛攻を加へ、敵を悉く殲滅河の藻屑と化せしめた、作戰第一日目の戰果は左の如し

敵遺棄死體三〇〇、捕虜一五、鹵獲品小銃二八、同彈藥二、三〇〇、飛行機による爆碎二百人乘舟艇十六隻

陸鷲、臨澧を初爆擊
石門、慈利にも集中彈

【〇〇基地三十一日同盟】わが陸鷲精鋭部隊は三十一日石門爆擊に際し湖南省の要衝臨澧に對し最初の空爆を敢行、赫々たる戰果を收めた、すなはち〇〇隊長の指揮する爆擊隊はこの惡天候を冒して敵第六戰區の據點たる臨澧を奇襲、第七十三軍司令部に必中彈を浴びせこれを爆碎すると共に他の軍事施設をも爆破、六ケ所を炎上せしめ全機悠々〇〇基地に歸還した

【〇〇基地卅一日同盟】うちつゞく梅天を冒して奧地攻擊を敢行中のわが陸軍航空部隊は卅一日敵第六戰區の要衝石門、慈利を空襲し大戰果を收めた

すなはち午前〇時基地を離陸した爆擊機隊は地上低く垂れこめる暗雲を衝いて主力は石門上空に突入、市街中心部の軍事施設に巨彈の雨を降らせ數ケ所より火災を生ぜしめた、また他の一隊は慈利を奇襲、軍事施設三ケ所を爆破炎上せしめ全機悠々歸還した

張鶴鳴軍潰滅

【河南省東部前線卅一日同盟】河北省東部地區に對し作戰を展開中の各精鋭部隊は張鶴鳴麾下の察南獨立第〇旅を廿一日臨〇(濮陽西南十五キロ)附近において攻擊、これを潰走せしめた、かくて察南地區の匪賊は完全に掃蕩されわが精鋭部隊は作戰開始以來廿八日までに左の如き戰果を收めた

◆交戰回數一一〇、遺棄屍體六五、捕虜九二、鹵獲品多數

中共の切崩し活潑

【南京卅一日同盟】第三インターの解散宣言は重慶勢力を骨拔きにする絕好の機會を與へ、重慶側では過般擧行された第十一回三民主義全國中央大會の後を承けて陳立夫、朱家驊などの黨國幹部が中心となりしきりに中共切崩しの謀略を進めてゐる

死地に尚餘裕

【東京電話】卅一日富永陸軍次官から山崎部隊長の書翰が發表された、この書翰は去る四月二十九日の天長節に現地から出された便箋二枚のもので、行文簡潔しかも意を盡くして剩すなく古武士の俤を紙上に躍如たらしめてゐる、しかも困難な狀況下にありながら鮭に肴を魚に引つかけてしやれるなど綽々たる餘裕を示してゐる

謹啓 陽春の砌益々御清武の段奉賀候
先づ以て御榮轉の御祝辭申上候、次に私事先般轉補の恩命を拜し第一線進出の光榮に浴し欣喜仕居候、高田聯隊在任中の御懇情深謝申上候、當方諸多困難なる條件有之候が小官現存する限り當方何卒御安心賜度候
尚全島將兵士氣旺盛極めて明朗に任務に精進致居候次第にて甚だ愉快に存候
先づは御祝辭旁々近況御報告申上候 敬具
天長の佳節 〇〇〇〇 山崎大佐
富永恭次閣下
追信 鮭酒と魚肴は極めて豐富此の點日本一の贅澤の生活振りに御座候

總督府辭令(廿五日)

任朝鮮總督府遞信副事務官(六) 本府遞信書記 鈴木吉三郎
(廿二日附)
(江原道)本府屬 上原緻
陞敍高等官六等
(廿九日附)
任本府釜山高等水產學校教授(七) 本府釜山高等水產學校助教授 松谷晋三
同 松島貞次
同 千葉卓夫
(各通)
任本府道警視 京畿道在勤を命す(七) (慶務)本府屬 槇村五郎
(慶南農業)朝鮮公立實業學校教諭 矢野勝次
補八隅公立女子實業補習學校長兼教諭(七) (雄津)朝鮮公立高等女學校教諭 深瀨英夫
補元山公立中學校教諭(七) (慶州農業)朝鮮公立實業學校教諭 中込四郎
補密陽公立農業學校教諭 (仁川)朝鮮公立高等女學校教諭 萬西慶一
補仁川公立商業學校教諭(七) 本府殖產局試驗場技師 鈴木昭
本府陸軍兵志願者訓練所教授 雨任丈夫
依願免本官(各通) 本府道警視 篠原繁

戰ひ拔かん大東亞戰
貯蓄の保險
相互組織 千代田生命

A-O
有馬・青山・大岡・三輪博士創製
結核免疫元
適應症
一 虛弱體質 二 淋巴腺結核 三 瘰癧
四 肺尖加答兒 五 肋膜炎 六 喘息
七 初期肺結核 八 結核性疾患 九 眼結核
十 肋膜炎 十一 腹膜炎 十二 外科結核
十三 バセドウ氏病 十四 甲狀腺腫 其他
製造元 有馬研究所
販賣元 株式會社 須美商店 大阪市東區

第二輯 新刊
海軍報道班作家の前線記錄!
闘魂
★大本營海軍報道部監修
★くろがね會編纂
B六判・二五八頁 價一・二〇 送料一五
全太平洋の海域に於いて、我が海軍部隊が如何に勇戰奮闘せるかを、海軍將兵と行動を共にせる報道班作家より我が大本營海軍報道部に寄稿したる最前線記錄で戰闘の實相と將兵の壯烈なる氣魄と闘魂とを描寫す。
大好評 第一輯 進擊
海軍報道班員として最前線に挺身し、その生々しき戰闘經過を報道部へ送達せる戰況報告
B6判・二六八頁 價一・五〇 送一一
新刊
木村毅著
七洋制覇
大東亞と帝國海軍
我が海軍の明治以來の生立ち、ワシントン會議以後廿年の臥薪嘗膽の歷史及傳統に輝く歷代司令長官の偉勳、そして大東亞戰勃發より發に起てる無敵海軍の姿を說く。
B六判・二八〇頁 價二・〇〇 送料一五
東京日本橋本町 振替東京二四〇 博文館

東京小石川林町七〇 教育科學社 振替東京一六二八五〇
東京高師教育二十數氏執筆
國民學校叢書
國民學校 教育原論 價三・五〇 〒二〇
國民學校 經營原論 價三・五〇 〒二〇
國民學校 衛生原論 價四・〇〇 〒二〇
設備精義 價二・九〇 〒二〇
訓練精義 價三・六〇 〒二〇
音樂精義 價三・三〇 〒二〇
算數精義 價三・六〇 〒二〇
國史精義 價二・九〇 〒二〇
話方精義 價三・三〇 〒二〇
理科精義 價五・八〇 〒二〇
工作精義 價三・三〇 〒二〇
地理精義 價四・七〇 〒二〇
讀方精義 價三・五〇 〒二〇
修身精義 價四・〇〇 〒二〇
綴方精義 價五・八〇 〒二〇
體操精義 價四・五〇 〒二〇
柔道精義 價三・六〇 〒二〇
劍道精義 價三・六〇 〒二〇
習字精義 價三・六〇 〒二〇
家事精義 價五・三〇 〒二〇
農業精義 價四・九〇 〒二〇
商業精義 價四・三〇 〒二〇

心身錬成の會・天眞道々主
田村靈祥著
自分にこんな強い力があらうとは知らなかつたと全讀者驚嘆の書!
(公爵 一條實孝閣下 題字)
心身苦脫 神の力と人の力
若しも貴方が病苦に泣き、打續く不幸に苛まれてゐたら、迷はずスグ讀んで下さい。讀むだけで結構、其結果は苦痛や煩悶に對して曾て知らなかつた強い信念、不思議な力が湧上つてきます。つまり之は、今まで貴方の中に眠つてゐた偉大な靈性の發現で、弱い人間の內部から、強いこの力を引き出してくれるのが本當の功德なのです。靈療術の始祖田村先生が、邪惡な迷信類似宗教の氾濫を歎いて之等を眞向より擊碎、銃後國民の心身を一人でも多く健全明朗化し、此世の苦惱と悲みを一掃しようとする念願が凝つて遂にほとばしつたのこそ眞に魂の書です。
◆B六判・本文三百餘頁・寫眞入
◆普及版特價 一圓五十錢
◆送料各十五錢・御註文は左記京城取扱店か直接發行所へ、振替か小爲替にて送料共代價合金の上御申込みあれ。好評絕讃中即刻御註文を―
取扱所 京城本町一丁目 ニコニコ食堂本店內 天眞道京城支部
書籍目錄發行所へ申越次第無代送呈
發行所 東京市小石川區東京町一〇四 天眞道本部 振替口座東京七五五六番

新村出著
南方記
六月上旬發賣 B6判三六六頁 二・五〇 〒一五
該博深奧なる著者の隨筆集にして南進日本史に關するもの〻み蒐む。日本人南方雄飛の歷史、南方と日本民族、南方傳說研究、南方倭寇、南蠻頌、鎖國、漂流の事蹟、朝鮮の故鄉は南洋、他
傳記學會編
山崎闇齋と其門流
新刊 A5判四二二頁 四・一六 〒廿
斯界の最高權威により崎門學派の全貌を明示せるもの、今三齋を增補して完璧なものとせり。總論編歷史より觀たる山崎闇齋先生及び山崎學他廿五篇。
大川周明著 日本精神研究 一・〇〇
深山某著 保健・厚生 一・〇〇
和辻春樹著 隨筆・船 二・〇〇
八幡關太郎著 支那畫人研究 六・〇〇
B・タウト著 日本文化私觀 三・〇〇
東京市神田區駿河台上 振替東京七〇五九二 明治書房

社説 「歌」は戰つてゐるのか

一

國民歌唱といふことが叫ばれてゐながら、戰つてゐる日本人は、今どんな歌を戰つてゐるか戰して國民の戰意として歌つてゐるであらうか。戰つてゐること自ら歌はせてゐる國民歌曲は、何であらうかと思ひ返したい。

人は言ふであらう。"海行かば"が歌はれてゐるではないかと。しかしそれは一つの儀式歌としてである。今こゝに問題の對象としてゐるのは、戰つてゐる國民の生活と共にあり、戰つてゐる國民が樂しみ歌はずにはゐられない歌。さうしてそれを歌ふことによつて戰ふ國民の戰意といふものが、いやが上にも昂揚されてゐるといふ歌一般ふ日本の國民歌を指すのである。

二

かつて"俺は河原の枯すゝき"などといふ歌が流行を極めたことがあつて、世は まさに 感傷と頽廢の どん底に 沈んでしまつた。思へば 音樂は神秘玄妙の底流であり嚴罰不思議な藝である。人の心を生活を右にも左にもするのである。一國舉つて"敵は幾萬ありとても"の歌曲を高唱するとき、その國民のすべてが勇往邁進、鐵火の闘志に燃え立つのである。そこで今、その"敵は 幾萬ありとても"の如き歌曲がこの大東亞戰爭下の日本に生まれ、大東亞戰を戰ひ抜かうといふ日本國民に歌はれてゐるであらうか。

三

茲に於いて、今日世上に公表されてゐる愛國歌謠を見るに、その歌詞には"正義日本""大亞細亞""不滅の聖を勝望し"などといふ言葉が羅ねられて ゐる。それらの言葉は、一應強い構へを見せてゐるが、それが國民に親しみ歌はれてゐないといふことは、概念的言葉の羅列的な羅列であるからではあるまいか。それに比べて"敵は幾萬ありとても"などの歌詞は具體であり、少しもしさのない素朴な旋律が人をして親しみ歌はせるのである。

四

要は問題とすべきは作曲である。如何なる曲が戰ふ現下の日本國民の共鳴をよび、奮闘を起すかである。唯戰にその歌詞の概念に囚はれて安易に作りだした觀念的作曲には人はつかない。一應ついてもすぐ離れてしまふのである。まして人にうけるからといつて頽廢低劣なる場合、その歌詞が如何に國民的闘爭の香り高いであらうとも拒否さるべきである。往々にしてこの種の闘爭が歌詞のみを對象にして行はれ、つい曲想旋律の如何が見逃されて來た實情にある。殊に音樂の場合その曲の性格こそ本質なのである。

五

日本が、今日程大いなる戰爭をしてゐる時代はない。しかも國を賭して決戰の さなかにある。この決戰日本に於いて、國民の心意を眞底からゆり動かし香り立たせる美はしくも強い國民歌、決戰に榮え行く國の志操の壯烈壯快な國民歌の出現が心から待たれてならない。まして音樂に對して非常なる嗜好をもつ半島に於いて、今その山河に輝き映ゆる初夏のみどりのどよめきにも似た、明活蹶起の歌が切望されてならない。

鮮展への愛情

鮮展が蓋を明けた。生氣溌剌たる初夏の自然の中に、半島美術の生態を展示してゐる。然るに一部の人々の中には、鮮展を蔑視することを以つて自己の鑑賞の高さを誇らうとするやうなものを見る。勿論それは中央畫壇の作品に比べた場合、その水準は低いとしなくてはならない。低いものなれば高きへ導くべく好意をもつて見るべきである。こゝに問題とするのは、見る人の好意の有無である。人は自分の身近かなものを異常に愛するかと思へば、またその身近かな世界に惡意を抱くといふ癖を持つてゐる。その何れも自己的な感情である。自己的な感情を以つて身近を蔑視することは、正當でない。それは所謂自己をも不用意に蔑視してゐることである。鮮展は我々の側にある。我々はもつと眞摯な愛情をもつて鮮展のために共に努ふべきである。

"麥"の増産に萬全
收穫高の調査を延期

小磯總督は就任以來機會ある毎に食糧政策の根幹をなすものは生産高調査の正確を期するにあることを強調して來たが麥刈取期を目前に控へ、いまだに生産高調査の正確を期し得ない憾みあるに鑑み、更に本年麥作況が必ずしも良好を望み得ないので從來の六月五日現在の豫想收穫高調査を特に六月十五日に延期し本府報告期限を六月廿五日に延期することに決定、卅一日附政務總監通牒を以つてその旨を達示すると共にこれに基き農林局長通牒をも發して調査の萬全を期するため、豫取調査のほか全刈、坪刈調査をも行ふやう明示した

政務總監通牒

決戰體制下食糧政策の根幹をなす米麥の生産高調査の萬全なる遂行に關しては屢次通牒せる處なるが今日迄その正鵠を期し得ざる向あるは洵に遺憾とする處なり特に本年度麥の作況は昨秋以來の降雨低溫なる氣象に支配せられて出穗不揃ひ且生育相當遲延しつゝあるを以て從來通りの六月五日現在の豫想收穫高調査を以てしては正確なる結果を期待すること困難と思料せらるゝに就ては本年度に限り之が調査期日を六月十日現在とし本府に對する報告期限を六月廿五日に變更實施することとせるを以て現下食糧事情の下に於て本事業の重要性に鑑み一層の指導督勵を加へ、適確なる調査を期せられたし

農林局長通牒

別途政務總監より通牒ありたる食糧對策上本調査の重要性に鑑み特に左記事項留意の上道、郡、面關係職員は勿論穀物檢査所その他公私指導機關職員の上調査の適確に萬全を期せられたし、追而豫想收穫高の本府報告期限は食糧對策上嚴守相成 りたし、就ては 麥類の關係上全刈及坪刈調査を右報告資料となし得ざる地方にありては之を 豫想收穫高調査に 適用せられたし

一、豫想收量の調査方法を次の通り實施すること、本年の作柄に鑑みて從來の調査要綱に依る聽取調査をなすと共に全刈調査、坪刈調査を實施して其の正確を期すること

▲全刈調査 一ケ郡作柄中庸なるものにつき種類別三ケ所以上につき行ふこと

▲坪刈調査 一ケ面作柄中庸なるものにつき種類別十ケ所以上につき行ふこと

▲本府關係職員共同調査 主として全刈、坪刈調査につき行ふものとす、尚坪刈標準地は豫め郡面職員等、全刈標準地は道郡面職員等を選定し置き之を標示し置くこと

▲次に各道に於ける麥刈取開始の時期及刈取最盛期を失期なく本府宛報告すること

放送協會總會 會長は重任

朝鮮放送協會では卅一日午後二時より同協會に第十七回定時總會を開催、十七年度事業報告並に諸決算案を附議原案通り可決、役員改選を行つた結果左の如く決定した（○印は新）▲會長、甘蔗義邦▲常務理事、近藤確郎▲理事、伊森明治、井上淸、林繁藏、林茂樹、方台榮、○穗積眞六郎、韓相龍、金子滿重、谷多喜磨○田中徹三郎○孫永穆、碓井忠治、矢鍋永三郎、幽田忠次、○八木朗二、肥塚正太、菊池一德、○篠原昌三▲常任監事 中富計太▲監事石原磯次郎、○朴興植、韓

楊市工場初汲取り

【新義州、進辰局】アルミ界最大の期待である東洋輕金屬楊市電解工場は去る十五日第一爐の通電を開始以來鋭意爐の鎔入れに努めつゝあつたが廿九日初の汲取りをなした旨卅一日同社京城出張所に報告があつた

新製品は未だ分析されてゐないため品位は不明であるが既に○○爐の鎔入れを終つてゐるので今後相次いで製品を見るものと期待される、なほ同社淡輪社長甲田常務も去る廿七日來鮮、現地にあつて陣頭指揮を執りつゝある

給桑にやゝ懸念
春蠶作柄は目下良好

蠶絲統制會社に入つた情報によれば目下の所本年度春蠶の作柄は良好の模様で南鮮地方は既に四齡に入りこゝ一週間位が最も重大とのとされてゐる、前年度に比して掃立枚數においては幾分の減少を見られてゐるが本年は例年の如き霜害が見られないため實際桑には増加したと同様でありこの場合これに伴ふ桑田擴張が行はれてゐないので四、五齡期における給桑が果して充分であるか否か多少懸念されてゐる

特別附利を廢止す
預金、貯金の金利指示

現行鮮内各金融機關の預金々利率は普通銀行の協定によるものであるが、再發足後丸一年目を迎へた新朝鮮金融團では今回全國金融統制會の規定に基き總督府ならびに全國金融統制會々長の承認を得て朝鮮金融團の預金々利率に規準を設け實施することゝなつた、なほ指示金利は左の通りで協定率と同様であるが特に注目されるのは貯銀の如き非課税預金者たる公共團體の定期預金に對する特別附利を廢止したことである

預貯金々利率

（一）銀行定期預金 甲、年三分四厘以下、乙年三分七厘以下

（二）東拓定期預金 年三分四厘以下

（三）貯銀特約貯金 一年以上年三分二厘五毛以下、但し（イ）個人場合 一年以上年三分三厘以下、三年以上年三分三厘五毛以下、四年以上年三分四厘以下（ロ）朝鮮所得税令第二十條に規定す、非課税團體の場合 年三分七厘以下

（四）信託會社信託利益歩合 一年以上年三分七厘以下、二年以上年三分九厘以下、三年以上年四分二厘以下

（五）朝鮮國民貯蓄組合令に規定する免税要件を具備しかつその限度七千圓を超えざる銀行定期預金または合同運用金錢信託甲年三分六厘、信託會社甲三分九厘、其の他甲三分七厘

（六）銀行當座預金甲日歩二厘以下、乙日歩三厘以下

（七）銀行特別當座預金甲日歩六厘以下、乙日歩七厘以下

（八）銀行通知預金甲日歩七厘以下、乙日歩八厘以下

（九）銀行別段預金其他雜預金甲日歩七厘以下、乙日歩八厘以下

食料小賣商組 總代會を開く

京城食料品小賣商組合では卅一日午後一時から府民館中講堂に本年度總代會を開催、十七年度事業報告並に諸決算案剰餘金處分案承認、十八年度事業計畫並に收支豫算七萬四千圓經費の分賦收入方法、借入金最高限度決定、準備金および積立金の利用並に保管方法、定款並に諸規程變更の諸件を附議原案通り可決、砂糖部會のほか新たに練粉乳、食料油、雜穀、鹽干魚、鷄卵、味噌、醤油、澱粉、小麥粉、漬物佃煮の八部を設置することに決定をみた

東拓鑛業總會

東拓鑛業では卅一日前十時より同社に第廿回定時株主總會を開催、當期諸決算案並に利益金處分案（年五分配當据置）を附議原案通り可決、引續き監査役和泉泰氏任期滿了に伴ふ改選を行つた結果同氏の重任となつた、利益金處分左の通り（單位千圓）當期純益金二四〇▲前期繰越金一〇▲うち法定積立金一二、株主配當金、年五分）一七五役員賞與金八、退職給與基金一〇、後期繰越金四

鐵工組總會

京城鐵工々業組合では卅一日午後一時から京城商議議室に本年度通常總會を開催、十七年度諸決算案、十八年度最高限度決定、臨事二名任期滿了につき改選の件、信用評定委員補缺選舉、役員及び信用評定の諸件を附議した結果左の如く可決した▲借入金最高限度長期十六萬圓短期七萬圓▲一組合員に對する貸付金額の最高限度信用貸付五千圓、擔保貸付二萬圓、特別貸付納入濟檢査未了加工賃の七割以内及び納入濟檢査完了加工賃の十割以内

繭賣買價格決定
六月一日から實施

總督府では纖維資源確保を圖るため内地に順應して先に繭の大幅値上げを行つたが右に伴ふ朝鮮蠶絲統制會社の賣渡し及び販賣價格を卅一日附總督府告示第六百八十號を以て認可六月一日から實施する、右の中普通蠶種の買入、賣渡價格は從來春蠶、夏秋蠶を區別してゐたのを一本建としてゐたのを一本建に改めると共に十五十五錢乃至二十錢づつ引上げ、種繭價格五十六錢より十五錢引上げの七十一錢とし、これに準じて屑、玉、繰繭の賣買價格、掛目を次のやうに決定した

一、普通蠶種（單位一〇グラム）買入價格二圓〇五、賣渡價格二圓二五

▲本表價格は蠶卵蠶種の價格とし朝鮮蠶絲統制株式會社の指定する受渡場所渡價格とす

▲平附蠶種は卅五錢附を以て蠶卵十五グラムと看做す

二、中繭（單位一貫）買入價格上五、〇〇四、〇〇

三、屑繭（單位一貫）買入價格一二〇〇賣渡價格一、二〇

四、玉繭（單位一貫）買入價格五〇〇賣渡價格五、二〇

五、絹繭、買入掛目四四、〇賣渡掛目四四、〇

地方制度の改正
愈々けふから實施

【東京電話】大東亞戰爭完遂への重要基盤たる國内體制の整備確立については政府においても夙に重要國策の一途としてこれを取上げ去る八十一議會に決戰下要なる重要法案として東京都制案と共に市制町村制改正法律案を提案し原案とほり通過成立いよいよ六月一日を期し畫期的地方制度の改正が施せらるゝことゝなつた今次制度の改正は國策の浸透徹底と國家總力の發揚を主眼としており從つて市町村長の權限の強化、國政委任事務の範圍の擴大および時局認識に透徹せる眞の人材登用主義の適用など國家意志の強力浸透の下に官治伸張の傾向が顯著に看取されるが、これをもつて地方行政の高度能率化國民生活の確保安定および國民の能制の整備強化を實現せんとするものである、しかしながら一方官治伸暢の結果權限濫用の弊に陥り國民士氣の萎靡沈滯を招く惧れなしとせずこのため内務省では改正法の實施に當つては官民の理解協力のもとに苟くも地方政の 闘爭審査に 奮闘する が如き ことのなきやう 國民東條に對して 誠心を促し 國家の要請に即應せる地方自治の眞體發揮に萬全の措置をとることゝなつた

滿鐵の事務簡素化

【新京電話】政府は行政の簡素化に對應すると共に行政整備に關する基本的見地から今回滿鐵の業務に關する許可認可などの事務を簡捷化することとなり六月一日を期して實施するすなはち從來中央において行つて來た許可事項のうち相當程度のものを現地機關（駐滿大使、關東總長官）に委讓するとともに會社よりの許可認可申請事項の範圍を縮少しこれを届出事項の程度に止めることとした、これにより中央においては重要なるものにつきその徹底を期しうるのみならず現地機關においてもその機能を十分に發揮し得ることとなるわけである

本社寄託獻金 ―卅一日扱―

國防獻金

【陸軍】▲五十圓京城府南米倉町三ノ一〇八三邑たけ▲二十圓京城府櫻井町二ノ九九大根すゞ▲十圓京城府南米倉町二一〇中山明子

【海軍】一百圓京城府本町五ノ七九辰巳市藤▲五十圓京城府南米倉町三ノ一〇八三邑たけ▲十圓京城府南米倉町二一〇中山明子▲五圓京城府竹添町一ノ七五宮南楨盛▲三圓忠北清州郡琅城公立國民學校五年生一同

恤兵金

【陸軍】▲三百圓京城府旭町一ノ一〇〇上川照德▲三十圓京城府本町四ノ八八井上房

【海軍】▲三百圓京城府旭町一ノ一〇〇上川照德▲五十圓京城府杏村町一〇ノ五藤井德彌

累計【國防獻金】▲九十萬一千五百四十七圓二十三錢【恤兵金】▲二十三萬九千八百九十八圓八十六錢

總合計 百十四萬一千四百四十六圓九錢

敵國抑留同胞救濟慰問金

▲眞鍮器五十點京城府青葉町二ノ六三大島武敏▲同四十點京城府西大門一丁目五八久保商店代表者徐廣輩

一金參百圓也 京城府竹添町一丁目一〇 伊藤光圀

一金貳拾參圓八拾錢也 開城府池町八分區五十七班愛國班員一同代表新井在翼

興亞總本部々長級人事發令

【東京電話】大政翼贊會興亞總本部では部長、副部長級人事を決定し卅一日總裁の決裁を經て左の如く發令した

總務局長 桑島主計

總務部副部長兼務を命ず 齋藤國三郎

同宣傳部長を命ず 瓜生喜三郎

同會議部長を命ず 金丙 良

企畫局企畫部長を命ず 佐藤 佐

同調査部長を命ず 河野 敏

實踐局事業部長を命ず 篠原 陸

同保導部長を命ず 伊藤喜三郎

同文化部長を命ず 富士原 滋

錬成局錬成部長を命ず 藤田 進

同相談部長兼務を命ず 小平不二雄、佐藤善助、伊藤專一、山本政夫、寺島隆太郎、宮本誠三、興亞總本部副部長を命ず（各通）大久保傳蔵、松野弘、西川富元、根岸讓夫、南興之、稻本文治郎、甲木保、栗野光純、興亞總本部副部長心得を命す（各通）

纖維産業の確立
整備制限規則を發令

半島に於ける纖維工業設備については昭和十四年一月總督府令第四號をもつて一部制限令を發布、次で支那事變の擴大長期化に對應するため同十五年三月府令第卅一號をもつて全面的改正を實施、さらに十七年一月府令第廿號をもつて一部改正を行つたが、大東亞戰爭の進展に伴ひ、纖維資材の増産確保が特に緊要であるにも拘らず最近纖維の回轉に應じて纖維資材の濫費を來す傾向があり、これがため正當な 供給を阻害する 一方重要物資たる纖維製品の生産增強に惡影響を及ぼしつゝあるので、本府當局では斯業の放埒な動向を規制して健全な發展を助成すべく、これに對する指導統制を一段と強化して半島纖維産業の確立強化を期するため、六月一日附府令第百五十七號をもつて改正纖維工業設備制限規則を發布即日實施することになり、左の如き殖産局長談を發表した

殖産局長談

纖維工業設備に關しては昭和十四年一月朝鮮總督府令第四號を以て一部纖維工業設備に對する制限令の發布を見、その後支那事變の擴大長期化に對應するため昭和十五年三月府令第三十二號により全面的改正を施され現行纖維工業設備制限規則の發布となり次で昭和十七年一月府令第二十號を以て一部分改正せられたのでありますが大東亞戰爭の進展に伴ひ曠古未曾有の重大時局に直面するに至り總力結集の決戰體制下就中軍需並に必需資材の飛躍的增産は聖戰完遂の根基をなすものでありまして他の重要資源と相並んで纖維資材の増産確保は特に喫緊の要務たるのでありますが、近時統制の至らざるに乘じて纖維資源の不適正なる濫費をなす傾向を認められ之がため正當なる供給を阻害する狀態でありまして、延て重要物資たり纖維製品の生産增強に少からざる影響を及ぼしつつあり甚だ遺憾なる次第でありますので之が爲には一面に於て纖維資源の一大増産を圖り且之が供出に萬全の實績を期するの要がありますと共に斯業の放埒なる動向を規制して健全なる發展を助成すべく之に對する指導統制を強化し益々重要性を負荷せる纖維産業の確立強化を期する要がありますので今回纖維工業設備制限規則の改正を見る次第であります、即ち本改正に依りまして最高度生産力發揮の決戰態勢に即應して不適格なる弱小企業の無秩序なる濫出を抑制し鮮內纖維資源の供出强化並に之が有効適切なる活用を圖り纖維關係事業資材及び生産力齊充用物資の生産增強と最小限度の生活必需衣料物資の生産確保を期することと致されたものでありまして一般に於かれては克く本改正の趣旨を諒得され國策の方針に御協力あられんことを切望する次第であります

尚改正條項の要點を擧げますと右の主旨に依り從來制限せられてゐなかつた範圍に亘する設備を要許可事項とせられました外撚以及び藥莚製織用を除く我の手織機又は手廻ミシン台三台以下の設備を初めて新に手紡織打綿機、藥罐用を除く製綿機等も新增設、改造、入換等に付許可を要することとせられ而して之が取扱は原則として許可せられざる方針であります

又之等に付既存せる設備に付ては本令發布後三ケ月以內に所轄府尹、郡守又は島司及び警察署長の證明書を添附した届書の提出を要するのでありまして右期間經過後は如何なる理由に依りましてもこれが届出は受理せられないのでありまして從來の例のありました未届設備を適法ならしめんとする新增設許可申請の如きも詮議せられない方針でありますから特に御留意を要するのであります

株式市況（卅一日後場）

朝取短期

銘柄	大引	高値	安値
高周波	—	—	—
マグネ	—	—	—
岩村	六三・四	六三・五	六三・四
三重新	—	—	—
鐘紡	—	—	—
東輕金	—	—	—
鐘新	八四・八	八四・九	八四・八
鮮工新	—	—	—
小林	六八・九	六八・九	六八・九
朝陽	—	—	—

大引 二・三五分

大株短期

銘柄	大引	高値	安値
鐘新	一七五・七	一七五・九	一七五・七
鐘紡	一三三・五	一三三・六	一三三・五
東紡	一一四・九	一一四・九	一一四・五
日石	七一・二	七一・三	七一・〇
日立	八九・二	八九・三	八九・二
帝人新	七一・四	七一・五	七一・四
郵船	八七・六	八七・八	八七・五
商船	—	七六・六	七六・六
三重工	九五・三	九五・四	九五・一
神戸鋼	八九・二	八九・三	八九・二
郵船新	一節	三節	引
チツソ	三三・三	—	—
日紡新	九六・四	九六・四	—
帝人	—	—	—
倉絹新	—	—	八四・八
日レ	—	—	—
滿業	—	六〇・〇	六〇・二
日立新	—	—	—
鋼管	六七・九	六七・九	—
日産	—	—	—
日魯	八二・九	—	—

大引 二・二八分

東株短期（第一部）

銘柄	大引	高値	安値
東新	三・八	三・八	[illegible]
郵船新	—	—	—
三重工	—	—	—
鐘新	七五・四	七五・六	七五・四
帝人新	七〇・四	七〇・四	七〇・三
日立	八九・二	八九・二	八九・〇
鋼管	六七・五	六七・九	六七・五
日石	七一・一	七一・一	七一・〇

（第二部）

銘柄	中	引
滿鐵	六六・〇	六六・七
郵船	八〇・七	八〇・八
北炭	二一・〇	二一・二
鐘紡	一三九・七	一三九・八
洋レ新	—	二四・二
倉絹	—	三五・三
麥酒新	四八・二	四八・三
塩水	六五・三	六五・五
日蝋	六六・〇	六七・九
滿業	六六・九	六六・九

大引 二・二三分

文化 講談の諺文譯（2）
岩田和成

私は常に考へてゐる。日本の武士道――楠公父子の忠烈から豐臣太閤秀吉の偉記、水戸黄門公の治績、宮本武藏の修行、四十七士の義擧その他勤皇志士の忠節など、諺文小說化して街頭に出したならば、長煙管をくわへてゐる父老の舍廊にも、多羅り房に於ける若婦人の內房にも、向う鉢巻で叺を織る作業場にも、釣網を修繕する漁村の土間にも、到るところに義士說入りの勇姿や、志士勤皇の苦行などが、色とりどりの表紙になつて散見することにならうし、それによつて皇民化運動に拍車をかけることを疑ひがない。

そして三尺の童子の中から、大久保彦左衛門がどうの、堀部安兵衛がかうの、松陰、南洲があゝのといふ話が出るやうになれば、格段の施策をしなくても、內鮮は渾然一體化するであらうし、俚諺も口碑も自づと支那に倚ることなく、國語を愛用するやうになるであらう。隨つて、朝鮮で從來美人を讃へる時に使はれてゐた楊貴妃のやうだといふ形容詞も姿を消し、能辯家を蘇秦張儀の如しといはなくなり、武勇將軍を關雲長、趙子龍になぞらへるやうなこともなくなると思ふ。その代り、美人は小町姫、大國師は天一坊、日和見の洞ケ峠(筒井順慶)、力持の辨慶、武勇將軍の義經、大忠臣の楠公父子、鬼ケ島征伐の桃太郎に至るまで、悉く日本語を愛用するやうになれば、幾多の內鮮一家實現への先驅者も、地下に莞爾と瞑することが出來るであらう。

そこで、私はこの頃、眞面目になるまでの『靑年秀吉』を諺文譯してゐるのである。これに對して憂する者もあるが、美談を採り入れ教材的なる思慮をめぐらせば、何等憂ふるところはない筈であり、それでもなほ恐れるのは被壓倒民見の僻間の類だといふことが出來る。

不連續線 世相變轉

意外の友人と銀座で逢つた。『やあ』『おや』『いつ出て來た』『八日程前に』『朝鮮も徵兵制になつてね』『うん、來年から』『何かと忙しくなるだらう』『うん』『大にやつてくれ給へ。失敬』『あ、失敬』

さういつて、二人は別れた。これが二三年前なら、それだけのことをいふためにも、喫茶店へ入つたお互だつたらう。世の中は變つた。

鮮滿を結ぶ劇の交流演
映畫同樣配給機構に踏せ

映畫演劇の使命が益々重要視されつゝある時、朝鮮に於ける演劇、演藝の適正公演が各方面から要望されそのためには鮮滿を結ぶ配給網の確立を行ふべしとなし、朝鮮演劇文化協會派遣鮮滿巡業團の編成を機に問題が積極化されるに至つた在の演劇公演狀況を適正化し、確實な配給機構の設置を必要とする聲が次第に昂まり、その現れとして先般朝鮮演劇文化協會朝鮮映畫配給社の双方幹部が會同、その對策につき種々懇談をとげたが朝鮮演劇の精神的、質的向上を目標に演劇文化協會を母體とする配給資機關の設置が漸く本格化の運びとなつたので、近く鮮滿をつなぐ具體的施策が實現の筈である

その參加者氏名は次の通りである【朝鮮文人報國會】牧洋、趙武三雄、鄭飛石【朝鮮映畫製作會社】星田一朗、卿寅山【朝鮮美術家協會】山田新一、根津莊一、高島功、今田慶一郎、星野二彦、岡島正元【朝鮮演劇文化協會】牧山瑞求、林仙圭

移動映畫班の特輯

映畫配給社が全鮮に派してゐる直轄移動映畫班六月發行の作品には海軍特別志願兵制度新設を記念して、この特輯番組を編んでゐるが全十四班とも次の如く決定した

▲劇映畫▲文化映畫京城△父ありき▲榮光の日、忠北▲第五列の恐怖▲太平洋聞じて護る忠南▲南から歸つた人▲勝利の基礎全北△我が家は樂し▲軍艦旗南へ行く全北△母と戰場▲榮光の日慶南▲南海の花束▲榮光の日黄海△海の母▲擊ちてし止まむ平南▲青春の氣流▲潜水艦平北▲燃ゆる大空▲軍隊生活の朝江原▲國譽未だ死せず▲東郷元帥と日本海軍咸南△箏子と夏代▲海軍と體操咸北▲三人姉妹▲海軍と體操特別班▲國の愛情▲輸送艇と小運送

報道演習參加 文化團體代表

目下〇〇方面に於て行はれてゐる朝鮮軍の第一次報道演習には文化各團體からも挺身參加してゐるが

國民皆唱歌 『國』

國引の昔かたりをそのまゝにのびにのびゆく日の本つ國　佐藤政子

君と臣おやと子のこと和みつゝやゝ榮えゆく日の本つ國　田中半次郎

戰はよしや百年つゞくとも國の糧は足りなむ　古賀重子

花もありみもある國とうたはれてよにたぐひなきくにはわが國　吉田彌惠子

親しくひらけし國のはてまでもわか大君のみいつかゝやく　今村豐猫

文化だより

◇梶原緋佐子氏（女流日本畫家）來城中、南山町一ノ一六土井邸一氏宅に當分滞在

◇十名詠會福瑙會 一日、二日兩日午後六時半、本町三丁目京城藥劑倶樂部で催す

隨想錄

先般行はれた全國高等學校長會議で不良學生は嚴重處斷することに意見一致した、戰時下學生として錬成を輕視したり、學業を怠つて白晝喫茶店に入りびたつたり、或は酒を飲んで學生にあるまじき振舞をしたりする 者は 容赦なしに處斷すると云ふのである▲至極賛成である、苦學力行してゐる者は別として向學心に燃える青少年のうち高等專門の學府で勉に勵み得るのはほんの一部分なのだ、惠まれた己の幸福を天に感謝せねばならぬ、學ばんとして學び得ざる多くの友のためにも、又その友の分までも研學これ努めて國家が必要とする部面に向つて挺身報國を誓ふべきである▲勿論世の指彈を受けるやうな不良學生は極く僅かであらう、しかし僅かでも今の世にそんなのが居るといふことは決戰態勢を紊るものとして許容出來ない▲これは學生問題とは限らず戰がながびくとやゝもすると人の氣が弛み勝になる、開戰當初のはつきり漲つた緊張が最近又々弛んで來たやうな氣がする、戰爭を軽んで來た證據である、嚴に戒めなむ、戰局の現段階を直視したら醉ふて遊樂など飲めた義理ではあるまいと思ふ、飲まず食はず、闘に死なう覺悟で戰つてゐる前線の將兵のことを想ひ、もう一度我等の生活を見直し立直さうではないか。

肺患者に…急告…

無料送呈 …まちがつた治療法の爲めあたら人生を失ふ肺病ロクマク患者よ、早く正しい治療法を知りてより治しませう。お金を基礎とした全快者『消毒治療の實驗』を今スグ『京城日報』で見たと書いて左記へ御申込下さい。

大阪市功德山德林寺

淋疾に劃期的新劑の出現 優能 ユーロン 「萬有」

ユーロンは化學療法劑中最高の分子規格を有し內服のみによりて淋菌を完全に撲滅するが故に決定的治淋劑にして全治療界より絶讃を享くるのみならず凡ゆる化膿性疾患に應用して卓効を奏す

適應症 急・慢性淋疾、丹毒、敗血症、中耳炎、扁桃腺炎、乳腺炎、蓄膿症、化膿性疾患

包裝 錠劑 二十錠入 百錠入 粉末 十瓦入 廿五瓦入

萬有製藥株式會社

全國醫學大會發表

頭重、耳鳴、不眠 動脈硬化 高血壓に卓効

腦溢血、狹心症の前兆たる動脈硬化、高血壓之に伴ふ頭重、耳鳴、肩凝、不眠は血管運動神經の平衡失調が病源で腦下垂體前葉製劑「メーミン錠」の服用で急速に血壓は降下し、前記症狀も全面的に快癒する新事實が伊藤廣武博士に依つて究明せられ第三十九回全國醫學大會總會に發表せられ、玆に於て腦溢血、狹心症の豫防治療は根本から是正され一大轉換を見るに至つた。之れ本劑を確信を以て推奬する所以である。

定價 五圓、十四圓、全國各藥局にあり

文獻進呈

腦下垂体前葉製劑 メーミン錠

日本經濟戰爭序説 西谷彌兵衛

皇國必勝の信念に就て 岡村寧之

國民威儀の現成 田忠雄

攘夷精神と藤田幽谷 高須芳次郎

現代 六月號 80錢

食糧對策 座談會 我妻東策 松田甚次郎 菅原兵治 宮城孝治 石坂弘 助川啓四郎

金屬の生産技術 池田謙三

ソロモン航空基地 高原四郎

細胞學研究室から 湯淺明

日米電波戰 澤田進之丞

昭和政記 第二章・黨政時代 御手洗辰雄

（小說）昭和國民史 緒方久

大日本雄辯會講談社發行

鷲海醫院 及眼科 性病科 皮膚科 醫學博士 鷲海元則

第十七期貸借對照表 朝鮮製鐵工業株式會社 [illegible]

第四期決算公告 朝鮮造船鐵工所 [illegible]

義州鑛山株式會社 [illegible]

第貳拾六期決算公告 開壽十地興業株式會社 [illegible]

貸借對照表 朝鮮石油株式會社 [illegible]

本社募集 健兵錬成の歌

榮えの入選歌詞決る

三千五百篇中から嚴選の珠玉

軍司令官賞 川原康聖氏に輝く

半島同胞に與へられたる徴兵制の榮譽――それは時代的なる半島の飛躍を物語るものであると共に、またそれに應へる道は、一般青年に徴兵の氣魄を植付け、盡忠報國の精神を燃え立たせることでなければならない。本社では昭和十八年度の五大事業の一として、一千二百圓の賞金を懸け、力強く且明朗にして、二千五百萬老幼男女が聲高らかに合唱し得る『健兵錬成の歌』を普く一般から募集したところ、朝鮮はいふまでもなく內地、滿洲、支那その他からも續々應募あり、締切期日たる四月一日までに本社に到着したもの無慮三千四百八十二篇の多きに達した。乃ち本社では直にこれを慎重整理の上、かねて委囑せる審査顧問大野學務局長、倉茂朝鮮軍報道部長、山下總務局長、波田總力聯盟事務局總長、平出大本營海軍報道部課長、松本京城在勤海軍武官、谷萩大本營陸軍報道部長（以上五十音順）及び審査委員たる菊池寛、佐佐木信綱、土岐善麿、尾崎士郎（同上）等の諸氏に回付し爾來五旬にわたつて慎重審査をつゞけてゐたところ、愈々顧問及び委員の間で二十六篇を擧げ得たので五月廿一日午後五時から東京築地の花月に於いて、最後の入選を決定すべき審査會を催した。當日出席されたのは大本營陸軍報道部長谷萩那華雄少將、同海軍報道部課長平出英夫大佐代理、菊池寛、土岐善麿、尾崎士郎氏等で（佐佐木信綱氏は病氣缺席）本社側からは飯澤東京支社長、寺田文化部長も列席、逐一各歌詞につき應募者の名を秘して檢討に檢討を加へた結果、遂に次の如く入選一篇、佳作二篇の決定を見、然もそれが偶然にも全部半島在住者の應募作品であつたところにも、徴兵制の感激と健兵錬成の氣魄が如何に半島內に澎湃としてゐるかゞわかるが、爾來各入選佳作者の身許調査の結果、入選者、佳作者として江湖に推薦しても恥かしからぬことを確め、本日こゝに發表することになつたのである。なほこの當選歌詞は直に陸軍戸山學校軍樂隊に作曲を委囑、かくて半島二千五百萬の雄叫びとして高唱さるべく策圖してゐる

審査員の言葉

感動的な內容

審査委員 土岐善麿氏

土岐善麿氏

今回募集の歌詞はその主題が明徴として極めて重大な動向に關するものであり、時代的にも積極的な意慾をもつものであるから、その內容が頗る感動的なものであることは言ふまでもない、從つて寄せられた作品がいづれも明朗、壯大、剛健な士氣の高揚を表現したものであつたことは、審査員としてもまことに爽快な氣分をもつてこれに接し得たことを欣幸とする。特に入選の一篇は、極めて單純適切な發想用語のうちに一節一節實感のにじみ出てゐる點を推賞する、徒らに美辭麗句を連ねることなく、よく時局擔當の青年の意氣を示し、堅實かつ強固な決意を示したことは、同じく皇國精神を發揚したことは、同胞諸君のために慶賀に堪へない。字脚もアクセントも正しく揃つてゐる、立派な作曲を得て朝夕に高唱されることを待望するものである

入選歌

一

日の本の　譽を荷負ふ
錬成の　若人我等
火と燃ゆる　皇國魂
ひつさげて　使命果さん

二

まごころは　櫻と薫れ
大君の　御楯ぞ我等
召されたり　半島男兒
かしこしや　何か恐れん

三

大御稜威　み旗のもとに
鐵壁の　勇士ぞ我等
われこそは　日本男兒
さきがけて　武勳しめさん

入選の川原康聖氏

◇入選（一篇）朝鮮軍司令官賞、賞狀及び副賞金壹千圓（內國債五百圓）
京畿道加平郡外西面清平里 漢江水電清平建設事務所 川原康聖

◇佳作（二篇）賞狀及び副賞金壹百圓（內國債五拾圓宛）
京城府龍山町三ノ一一師團官舍一八乙 藤原一善
京城府明治町二ノ三 萩原照生

喜びの入選者

"身に餘る面目"

喜びを語る川原氏

川原康聖氏は本名川原政春佐賀縣出身で本年三十歲同縣立佐賀工業學校電氣科を昭和七年三月卒業以來大阪の宇治川電氣、佐賀の杵島炭礦などに勤務し、目下漢江水力電氣株式會社に勤務して清平發電所の建設工事に從事してゐるが、この間海軍設營隊に入隊し大陸各地に轉戰した經歷を持つてゐる、入選の報をもたらすと作業服姿で現はれ、流石にうれしさうに"あの歌は二十日間かゝつて作りましたが、偉い方々に見て頂く光榮を思ふと身がひきしまりました、さうですか、當選ですか"といひ、同僚の祝辭を浴びながら語りつゞけた

康聖といふ筆名は兄につけて貰つたものです、學生時代から美文や詩を作り日記帳に書いてゐましたが友達に見せても褒めて貰へるやうなものは出來ませんでした、何しろ電氣技術者として起ち、その方の勉強が忙しく文學は全くの餘技です、大體應募したのは今度が初めてゞ、入選とは嘘のやうです、半島に來てからまだ二年ちよつとですが、半島志願兵のひたすらな姿を眺め、多くの青年諸君が健兵への錬成にいそしむ頼母しさを見て感激しこの一篇を作りあげたものです、今後さういふ人達にこの歌がうたはれるのを思ふと身に餘る面目です、愈々應召報國に邁進すると共にお國の役に立つべきいゝ歌を作るやう心がけたいと思ひます

お恥しい次第

佳作 藤原氏談

藤原一善氏

四千に近い應募作品の中から佳作に推された龍山町三ノ一一藤原一善氏（三〇）（京城師團經理部經營課勤務）は昭和五年釜山中學校中途退學、昭和八年から朝鮮造型美術研究會員として美術工藝（彫金）研究に專念、昭和十五年より北支第一線に轉戰して一昨年歸還した皇軍勇士であり、氏もまた作歌應募は今回が初めてゞある、吉報をもたらせば自宅で喜びを次のやうに語つた

あのやうな作品を佳作に採つていたゞき全くお恥しい次第です、歌詞は、在鮮廿年間ですが、心から半島青年の氣持になり、まさに徴兵制によつて半島青年に新しく起ち上つて貰ひたいといふ激しい意欲に動かされて夢中で書き上げたものです

今後も勉強を

佳作 萩原君談

萩原照生氏

佳作に推された一人の萩原照生君はまだ京城師範本科三年に在學中の當年廿一歲といふ弱冠、自ら徴兵錬成に勵みつゝその感激を歌つたものである、府內明治町二ノ三の止宿先に訪ねると"あの作が佳作とは夢のやうです"と若々しい双眸を輝かして語る

和歌が好きで萬葉集などを愛誦しましたが作詞は初めてゞす、半島青年の燃ゆるが如き健兵への決意と熱心な錬成を見て一氣に作りました、半島青年の歡喜の心を酌んでいたゞけたら幸ひです、今後も勉強をつゞけたいと思ひます【寫眞＝萩原君】

溢るゝ純忠の至情

聲高らかに唱和せよ

大野學務局長談

わが半島にも愈々明年から徴兵制が施行されることになつたのでありますが、このことたるや寔に皇國臣民の崇高なる義務であると共に最高の榮譽であります、畏くも直接 陛下の股肱として國史に輝ふ神武をもつて奉公の誠を盡すとは日本男兒の本分であり、また本懐でありまして日本精神の精華であります、この感激の首途、京城日報社では、さきに普く一般青年に對して徴兵たるの意慾と氣魄とを植付けもつて殉忠報國の精神を燃え立たせ併せて二千五百萬同胞の老若男女が聲高らかに雄たけびし得る勇勁明朗なる"健兵錬成の歌"の歌詞を募集したのでしたが、すでに四月一日の締切日をもつて三千四百八十二篇の純忠の至情溢るゝ應募がありましたのでその後審査に審査を重ねその內廿六篇の良作を殘し愈々最後の審査をとげまして、めでたくこゝに入選一篇、佳作二篇を決定、公表するの運びになつたのであります

その歌詞、まことに簡勁平易、何れも健兵たらんとする火と燃ゆる皇國魂が横溢し、神兵としての尙武精神と若人の皇運扶翼の決意が湧き迸つてゐるのを痛感する次第であります私は京城日報社のこの意義ふかき催しに對して深甚の敬意を表すると共に、かゝる多數の愛國歌篇に示されたる盡忠の至誠に對して痛く感激を覺えてゐる次第であります

蓋し健全なる詩歌の吟唱は人間性乃至國民性を正しく深くかつ力強く培ふものなることは古今の史實に徴しまた吾々の體驗が實證するところであります、また皇國軍人が軍歌を歌つて尙武の氣象を彌が上にも旺盛ならしめてゐることは申すまでもありません、かく務へてこの健兵錬成の歌が所謂けふよりはかへり見なくて大君の醜の御楯と出で立つ忠魂を育みゆくことを私は信じて疑はない次第であります、晴れて櫻の國の神兵の一員として召される感激にふるへる半島青年はもとより、子ども、大人も老若男女を問はず凡て二千五百萬の同胞がこの健兵錬成の歌の高らかなる唱和によつて神ながらの尙武精神の昂揚につとめ益々必勝の信念を固め相携へて健兵錬成もつて盡忠奉公、聖戰完遂の志念の部場に力められんことを切望してやまない次第であります

錬成精神の振起

歌へ！召さるゝ光榮を

倉茂軍報道部長談

榮光の徴兵制實施を目睫に控へ半島全野に亘つて、それら青年に對する烈火の錬成は日を逐うて熾烈化してゐるやうであるが、これが錬成に就いては召されんとする青年は勿論、その父母兄弟姉妹、かつは一般郷黨のもの遍く全部が同心協力してこそ初めて全きを得るのである

その同心協力、一體錬成の精神を一層振起するものとして今回京城日報社における"健兵錬成の歌"決定は洵に時宜を得た適切有効のものといふべきである當選作の歌詞の中にもあるが"大御稜威み旗のもとに"この聲を雄々しく高唱して、晴れて召さるゝの光榮に半島二千五百萬同胞は彌が上にも感激興起、總力を擧げて健兵錬成に結集し以つて大君の醜の御楯として盡忠報國の精神の烈々たる立派な壯士をそれ〲の家から送り出すべくその熱誠をいたすべきである

健兵たらん感激

大東亞建設の心の糧たれ

波田總聯總長談

應募、實に三千四百八十二篇といふ空前の盛況を呈したとは、半島民衆が徴兵制を如何に翹望し、またその實現によつて如何に感激してゐるかをこの"健兵錬成の歌"に寄せた關心のほどによつて敬て窺ひ知ることができる、しかしながらその應募作品を忌憚なく批判せば、中には徒らに不自然な美辭麗句を列べたため、直感的な素朴味を缺くものが、相當にみうけられた、だがその反面どれをみても畏く 陛下の股肱として召される光榮とこれに對する感激が躍現されて喜ばしい、そして總大的なその應募作品の歌の中には二千五百萬が健兵たらんとする感激が躍つて稱揚しかつた、願はくばその歌が二千五百萬の中に普及されて日常生活或ひは職場に高唱されて歌そのものゝ如く健兵めざしてまたは大東亞建設へ邁進する心の糧にならんことを切望する

半島の"空の神兵"

面會の主は意外志願兵訓練所の教へ子

語らぬ武勳に鹽原さん感激

【東京電話】卅一日正午ごろ東京麹町の遞信省電氣局に鹽原時三郎氏を訪ねた勇士があつた、半島初の志願兵出身吉野忠一曹長（創名朴炳烈、黄海道沙里院出身）で、大東亞戰初の落下傘部隊として全國民の血を沸かした〇〇の勇士の一人である、現在〇〇部隊にあつて猛訓練中であるがこの程上京、この日は寸暇を割いて初代訓練所長たりし鹽原局長を訪れたものであつた、局長は喜んで面會、種々犒ひの言葉を與へて武勳を聞かうとするのだが、曹長は『何んの手柄も立てず歸還を命ぜられ、御奉公に對し心から申譯なく感じます』とたゞ御稜威をひにのみ參りましたと謙遜して多くを語らず、たゞ愉しさうに瞳をうるませて局長の健在を喜び、數分にして名殘りを惜みつゝ辭去したが、その恩師を思ふ至情と雄々しさの中にも武勳を誇らぬ態度は鹽原氏はじめ居合せた同室の人々に『さすがは皇軍の勇士よ』と深い感銘を與へた

鹽原局長は感激して語る

吉野曹長は第一回志願兵として入所した、在所中にも頗る眞面目ではき〲した性格の青年であつた、曹長のあの態度に接し半島志願兵制、否、徴兵制度の大成功をこゝに見たやうな氣がして全く嬉しかつた、最初は所屬部隊は勿論、何處にゐるといふことも言はなかつたが、僕が胸徽章を見て『航空關係ですか』と聞くと、漸く落下傘部隊に志願して〇〇で戰つて來たことを告げたが、あれ程の武勳を一切口にせず『早く戰地に降りて戰つてみたい』と自ら志願してゐたので陛下の御ために非常に愉快でした』と答へるだけで僕の身邊のことのみに氣をつけてくれる、いぢらしいまでの心情には全く感激した、半島青年諸君はかういふ立派な先輩勇士がこの輝かしい大東亞戰の御楯と立つてゐることを銘記し、大いに頑張つて健兵たるの素質を修錬しなければならない

半島若人の譽れ

海田志願兵第一訓練所所長の喜び

『吉野君が〇〇の勇士だつたとは 聞くだにその赫々たる武勳が推し知られます、金鵄勳章の戰功に輝いたかの故李仁錫上等兵と共に榮えある本訓練所の初の修了生であるが、その在所錬成當時からすでに卓越した頭腦と他を凌ぐ熱烈な鬪志に燃えてゐた、本訓練所出身の半島若人が世界をあつと言はせたあの〇〇空の神兵の一員としてその輝く武勳は半島二千五百萬の光榮でありまた徴兵制を目前に控へた半島若人の憧れの的ともなるであらう』

時間の勵行 貯蓄で奉公

六月の實踐事項

畏くも大詔を拜してこゝに一年有半、大東亞戰第二年の決戰段階はけふ六月を迎へてちやうどその半ばにとびこんだのだ、喰ふか、喰はれるか、國家の興廢をかけたわが聖戰は愈々酣、神兵の征くところ敵なく南に北に必勝不敗、最後の勝利への輝く礎地は嚴に構へられ世界戰史に永遠不滅の金字塔を打樹てた、然し赫々たるこの戰果のかげに、われら一億の民は山本元帥の戰死、アッツ島に於ける守備隊全員の玉碎に腸を如何に斷かれたか、われら二千五百萬も泣いた、とめどもないその血涙は愈々燃ゆる銃後の決意を誓つたのである

米英への怨恨胸に燒きついたこの闘魂を驅り立てゝ愈々激烈を極める大東亞戰の昭和十八年六月を迎へたのだ、勝ち抜く早き道としてわれら二千五百萬は先づ六月の愛國班の徹底事項から決戰生活をしつかと打ち樹てゝ行かう、そして莞爾と笑つて散つて逝つた同胞の英靈に感謝して應へよう

六月の實踐徹底事項

一、十二億貯蓄をりつぱに果さう―昨年の九億の貯蓄はその目標以上をりつぱに果した今年の貯蓄目標は三億圓増しの十二億だ、これくらゐのことは何でもない、私どもは米英擊滅のために昨年よりもつと〲よい成績で今年の貯蓄を見事にやつてのけませう

貯蓄をするに最も大切なことは勤勞倍加と生活の切下げである、即ち多く働き少く費し餘てをあげて貯蓄へ貯蓄へと振りむけることである、憎むべき米英を倒す彈丸をつくる貯蓄なのだ もつと〲働きもつと〲生活を切下げよう

一、時間を勵行しよう―毎日の生活の中で時間を本當に大切にし、時間を有效に活用してゐるかどうか大いに反省すべきである

大東亞戰は愈々決戰段階に入つた、これに相應しい生活態度を確立することが何よりも急務である、これがためには規律的の生活即ち時間的生活を徹底的に實行すべきだ、先づ時間を勵行し、率先して決戰下國民の本務に邁進しようではないか

勝拔け經濟決戰

きのふ日婦大會で貯蓄組合結成

戰ふ婦人の意氣を昂揚し決戰生活に新たなる覺悟をもつて突進せんとする『經濟決戰婦人大會』は意義深い總裁宮殿下奉戴記念必勝國民貯蓄組合結成一周年記念日の卅一日午後一時から京城府民館で日婦朝鮮本部、京畿道支部共催で盛大に擧行された 波田朝鮮本部理事、高京畿道支部長、古市京城府支部長各役員幹部を初め來賓として水田總督府財務局長、波田聯盟事務局總長、倉茂朝鮮軍報道部長、坂婦人の意氣を誇るモンペ姿の會員等約二千名が參集、國民儀禮に次いで波田英子朝鮮本部理事の宣戰詔書の奉讀、古市京子京城支部長の皇后陛下より賜りたる令旨奉讀あつて高京畿道支部長の主催者を代表する挨拶に引續き伊達本部理事の小磯日婦朝鮮本部長の告辭代讀、續いて各來賓から祝辭あり、宣誓決議に入り、先づ伊原京城府支部長の宣言文朗讀に次いで萬雷拍手の裡に決議を行ひ最後に大日本婦人會綱領を朗誦して同午後二時十分意義深い大會の幕を閉ぢたが散會後引續き鈴川朝鮮火災社長の講演、映畫『勝利の基礎』を上映して散會した

けふ午後一時 府民館

物資戰 講演と映畫の會

入場無料

一、講演　國民總力朝鮮聯盟厚生部長 孫永穆氏
　　　　　朝鮮物資活用協會業務部長 青木正氏
一、映畫　日本ニュース、文化映畫外數卷

主催 京城日報社 戰時物資活用協會
後援 朝鮮總督府 朝鮮軍司令部 國民總力朝鮮聯盟

闇商人に斷

六ケ月の體刑

部道沼面雲月里一二八江華甫淵（四〇）は纖維品の拂底を狙つて一儲けしようと今年の二月初旬手製の綿布十反を府內に持込み道林町數山殿住に公定價格一尺廿錢のものを四十九錢超過の六十九錢で販賣合計五十六圓八十錢の不正利得をしたことを永登浦署員に探知され送局中のところこの程懲役六ケ月の言渡しがあつた

建國忠靈廟

春季例大祭執行

【新京卅一日同盟】日滿兩國の英靈三萬二千二百四十六柱を祀る建國忠靈廟春季例大祭は卅一日午前九時四十分から新京郊外聖域において嚴かに執行された 日滿の代表遺族百四十七名をはじめ日滿文武官代表など多數參列、橋本祭祀府總裁以下奉仕して嚴修された

忠信學院體錬會

忠信學院春季體錬會は一日午前十時から奨忠壇運動場で開催

話題特急

☆…海軍志願兵制度の光榮に沸き立つ半島に花を添ふ佳話―慶北迎日郡東海面田洞に住む金山順德さん（二〇）は夫を一昨年海軍作業員として某地に送つた

☆…貧しきうちにも五歲、二歲と二人の幼兒を抱へて順德さんは海の軍屬戰士たるわが夫が出征軍人にも劣らぬ名譽を想ひ強く留守宅を護りつゞけた

☆…若き妻は去る三月、急性腦炎の病床に斃れた、その後病勢は昂まり、洞民は情けの看病と夫の呼び寄せを勸めたが、順德さんは『國家のために働く夫に心配させて、そのご奉公に差支へさせては』とあくまでも斷りながら息をひきとつた

☆…夫の手柄をあの世での便りに待ち佗びながら死んで逝つたであらう、この烈婦の最期の報告をうけた總督府情報課では涙ぐましい半島婦人の偉大なる鑑を讃へてゐる

闇の新戰術

永登浦署で摘發に着手

利に敏い商人間に最近新しい商略戰術が生れ取締當局を惱ましてゐる、即ち物資がうまく入らないといふ理由で從來の企業を事實上廢止してゐながら屆出ず 他の方へ手を伸ばしてゐる者、又は今の企業で相當の利潤を見てをりながら徒らに企業の種類を殖やし無許可で公然と商品を賣捌いてゐる者などで永登浦署經濟係では片つ端からこれを摘發し嚴重處罰すべく取締に乗出してゐる

これは何れも企業許可令第三條の違反になるもので前者は從來の企業では採算が取れぬといふ情狀酌量の餘地もあるが、後者は相當惡質な手段と認められるので嚴重に取扱はれると

親日獨人の繪畫展

【東京電話】昭和十六年には陸軍報道部の許可を得て中支戰場に從軍の彩管を揮つた戰爭畫を作製献納しまた自作の繪葉書を皇軍慰問に作製するなど親日獨人として有名なウサリー・ザイラー畫伯（五〇）の近作繪畫展を六月一日から十五日間東京赤坂檜町のドイツ美術アトリエに開催する、作品數四十數點のうち九點は日本內地の風物畫で特に兵隊と蹴する父と子の立像畫を海洋風景に配した逸品等が着目されてゐる

「尿の病」と ▽性病―を 「家庭で治す」 藥草の自療法（告廣）

淋病、尿道炎、膀胱炎、前立腺病、痛尿、夜尿症等で種々手當も効なく、惱み苦しんでゐる人が多く氣の毒である。然し本病は不治ではないから根治的療法で完全に治せばよい。和歌山市公園三年坂（十）自然療法研究所（漢藥）の和療法部は、誰にも手軽に出來る藥草療法の文獻を發表し無料贈呈するが、幸ひ實驗治療者から多數の全快報告がある。希望者は必ず病名と病狀を認め、此新聞名を書て書面で申込れよ

貴命製藥の 頭痛 かぜ・ねつに ネッサル
東京府ミタカ町 貴命製藥株式會社 全國藥店に有り 藥價 ・三〇 一・〇〇 代理店…各地藥店

外用常備藥 一二三
田虫、水虫、くさ、吹出物、ひふ病なら一二三にお任せあれよく効いてあとが殘らぬ
東京神田 發賣元 師岡天然堂

哲學講座
東洋一、卅六卷、五千頁、口語譯、小說より面白い
哲學に徹せざれば新時代指導者たる資格なし

普通海員養成所生徒募集
一、募集人員 約九〇名
二、養成期間 二ケ月
三、志願者資格 國民學校初等科修了程度以上年齡滿十四歲以上ノ男子 但學資食費不要・制服ヲ貸與ス
四、願書 (1)提出期間 自五月二十五日至六月十日 (2)提出先 (イ)全北群山府本町一ノ三七群山支部 (ロ)京城府大和町一ノ六〇朝鮮海事會館訓育課
五、選拔 (1)場所 (2)日時 六月十三日午前八時ヨリ (3)方法 (イ)身體檢査(ロ)口頭試問(ハ)簡單ナル筆記試驗
朝鮮海事報國團群山普通海員養成所

乾電池不用 夜光ランプ
大日本防空協会推奨 專賣特許除料
空襲時唯一の照明に 暗中の安全目じるしに 痛感を要必対絶々愈 中來到々續文注等組隣團防警地各 廉低格價・久永命壽 成完品製新斬る光発久永
大阪府中部軍司令部 兵庫県師團司令部 實驗御証明濟
鮮滿地方 代理店募集 有力商店ニ限リカタログ規定書呈
東京市芝区田村町二ノ四 日本防空標識研究所

內科一般 X光線科 普通病室 隔離病室
院長 醫學博士 佐藤小五郎
佐藤內科
京城永樂町 電話本局 二八八四

月やく

安全索道中古

林索道營業所

ヒュガルポンプ
日本機械工業

花柳病專門 恒松醫院

慰問用玩具 並一般高級玩具 在庫豐富乞御照會
京城府太平通二ノ二 新東公司玩具部

斯界の高峰 天地眼出張
大鑑定 人事百般 運命解決指導
二十日まで

置裝聲擴
京城無線電機製作所
京城本町二丁目六三 電話本局(2)1251

除權判決

內地行工員募集
京城職業紹介所

料外 科病門 醫學博士 木村昌業
京城府樂園町一三五番地

釣具 吉備商會
京城府永樂町二丁目

香料 化粧品材料 染料 着色料
東華洋行

旗 各種旗、腕章、帽章、徽章、メタル、筆墨
朝鮮美術品製作所旗部

內科 小兒科 レントゲン科
京城府黃金町三丁目永樂町通り
本田病院 院長 醫學博士 本田建義

洋樂レコードは 山口樂器店へ

荷造用麻糸 陸上用ロープ 其他シデ紐紙紐 布ウエス各種糸ご紐
帝國纖維株式會社特約店
傘愛國商行 京城府黃金町二丁目一五九

乳のよく出る藥 ラクトミン
子供は皇國の宝 母乳を確保して 強く育てませう
製造元 國際新藥研究所

父健次郎儀 豫而病氣療養中の處養生不相叶五月二十日午後七時死去致候間茲に生前中の御厚誼を拜謝し此段御通知に代へ謹告仕候
昭和十八年六月一日
嗣子 大熊利彦

殲滅せよ敵米鬼
アッツ島の英靈に應へよ

氷雪に閉された北洋の涯に、斬つて斬りまくり二千數百の將兵一丸の火の玉となつて玉碎した、聞くだに血涙溢れ來るアッツ島守備隊血の決戰は南方第一線の空に散つた山本元帥の戰死の報について、再び銃後一億の胸底を激しく衝いた、あゝ身ぶるひする斷腸の悲報、われら二千五百萬もその忠魂に嚴肅な合掌を捧げ英靈を弔ると共に米鬼殲滅を天地神明に誓つたのである、以下は波田總聯總長と陸軍特別志願兵後援會長伊東致昊氏が語るアッツ島二千數百の英靈に應へて銃後は増産に邁進し米英鬼を撃滅せんとの半島二千五百萬の新たなる決意である

皇軍の崇高な精神
波田總聯總長の談

今朝の特別錬成の際に全職員に山崎部隊のあの壯烈なる戰死について訓示した、諸君はアッツ島の戰爭を聽いたなら不平など誠じて云へない筈である、戰時下だから不自由や苦しいとは初めから覺悟の上だ、だが我々の生活はまだく不自由とはいへない、現に物が足りないと云つて餓死した者は一人もない、アッツ島で山崎部隊はあらゆる不自由と戰ひながら全員一丸となつて最後の突撃を敢行して玉碎したではないか、而もこの攻撃に先き立つて傷病兵や戰闘に參加出來ない不自由な者は自決した、敵の辱しめをうけないといふ皇軍の崇高なる精神發露である、しかも山崎部隊は一兵一彈の補給をも受けず、默々として任務を遂行したのである、我々銃後は神にも似た山崎部隊を思ふ時此際に更めて一切の不平と不滿を捨て奉公の誠を盡して宿敵米英撃滅に突進しなければならない、と相當永い話をしましたが山崎部隊の壯烈な玉碎は一億國民の胸底深く突くものがありました、戰闘は軍人のみではなく銃後の又なき戰闘であります

英靈の遺烈に續け
志願兵後援會長 伊東致昊氏の談

山崎部隊がアッツ島の氷雪を血に染めて玉碎した報に接した時悲憤と激情で胸にこみあげる敵愾心をどうすることも出來ませんでした、一億同胞も同じ氣持だつたらうと思ひます、二千の勇兵で二萬の敵を敢然と攻撃し最後の一兵まで戰ひ拔いた敢闘振りには神[illegible]

けふから足に課税
釣錢のいらぬやう協力を要望

さあ今日から府民に"足の税金"がつきます、京城府で多年懸案の京電乘車賃金新税はさきに決定をみたが愈々今日一日から實施をみる、その附加徴收額は乘券一枚に付一錢、回數券に對しては八圓の割で徴收をみる、京電では現在一日二百十台の電車が運行し乘車賃金二萬八千圓乃至三萬圓の收入を上げてゐるから新税率によつて一日四千百圓内外の税金があがる譯定となり年收約百五十萬圓といふ見込みである

京電側では已に萬全を期して一日からの運行に備へてゐるが『釣錢が要らぬやう』の運動も先般來屡々繰返した處でありこの際運行の不圓滑防止の上からも府民の絶對協力を要望されてゐる

卅一日見目京電營業課長は語る

足の税金は一日から實施されますが要は國家目的に沿つて府民も會社も最善を傾けての御努力に他なりません、釣錢の關係で多少の運行上の不圓滑は免れませんがこの非常時局下にあつて府民各位の寛容な御協力によつて正常運轉の確保に努力したく思ひます

感謝狀授與
祭基町二七平田敏治氏はこのほど鍾路警察分隊女子部の國服中着を寄附隊員を感激せしめたが、去る廿九日赤津隊長から平田氏に感謝狀を授與した

金剛中學生献金
京城師團江上中佐の査閲を受けた江原道長箭の金剛中學校生徒一同は日頃の猛訓練の成果を發揮すると共にかねて回收して得た金屬類の代價五百圓を國防獻金として同査閲官に託し天晴れ銃後臣民としての面目を發示した

戰時物資を活かせ
風呂釜など共同使用が望ましい
入城の青木正氏談

戰時物資活用協會、本社共催の物資展映畫と講演の夕に講師として出席する戰時物資活用協會業務部長青木正氏は卅一日入城、宿舍半島ホテルに入つたが疲れもみせず内地の金屬回收運動並に今後の動向などについて次のやうに語つた

内地では鐵鋼銅を對象として金屬の非常回收を始めた、一昨年來特別回收を實施してゐるが、更にこれを強化し非常回收を實施することゝなつた譯である、勿論日本の鐵鋼能力は斷じて憂慮すべきものではないが、一日でも早く一噸でも多く鐵鋼の供給増強を圖るためにも鐵石から作るよりは回收による方が時間的にも資材的にも有利な譯であつて、こゝに非常回收のねらひがあるのである、戰爭が濟んでからの鐵の十噸よりも現在の一噸が必要だ、そして非常回收の具體案に鐵の閣議の決定を見、その細目も卅一日參與會議に附議される筈でこれから全國各府縣のブロック會議を開き打合せをなし全國的に展開されることゝなる

金屬回收と同時に考へられるのは、村落共同使用問題と、代用品問題だ、まづ村落共同使用は例へば、冠婚葬祭等に使用するものは各戸で持つことなく部落共有で間に合はせるといふやうな方法で大分縣などでは一ケ村に幾ふかを調査して回收した、風呂釜は隣組あれば間に合ふかを調査して回收した、風呂釜の節約にもなり燃料の節約にもなつて所謂一石二鳥といふことになる

目ざまし半島の躍進
丸山鶴吉氏に聽く鮮滿二旬の旅の感想

【下關電話】貴族院議員丸山鶴吉氏は鮮滿二旬の旅から卅一日朝下關着、特急"富士"で歸京したが關釜連絡船中次のやうに語つた

『朝鮮を引揚げて廿年、前回の訪鮮から五年振りに見る朝鮮は全く驚くべき變貌を示した、在鮮當時作つた"國境警備の唄"等今の實情からみれば全く隔世の感あることは一々数へきれぬ、その國境江に大鐵橋が架り雄姿をあげてゐる、この國境の變化が即ち朝鮮そのものの變化だね、全く半島の躍進振りはたいしたものだよ、もつと諸所見て廻りたかつたが日數の都合もあり次の機會に讓つたが京城から全州、晉州、釜山間一二〇里を一日で走破する強行軍したが、その間に垣間見た各地の作柄は今年も決して憂慮に値するものとはみられなかつた

しかし昨年の大旱害を克服した官民一致の努力は今後の災害に大きな教訓を與へたから決して心配はいらぬ、供出なども隨分無理だつたやうに聽いてゐるが實際はその結果に於て一人も餓死するものをつくらなかつた、現在生き長らへてゐる古老から聽いた丙子の旱魃は昨年とは比較にならぬ樂なものであつたらしいがそれでも夥しい餓死者を出してゐる、かう考へてくると、昨年の旱魃克服は偉大な行政手腕の勝利といはねばならぬ』

全北農業綜合研究所
推進機關として發足

【全州】飛躍的發展を遂げつゝある全北農業の推進機關として新發足する全北農業綜合研究所の開所式は本所、支所各試驗場所員職員五十餘名出席の下に一日午前八時から裡里本所で擧行、所職員に對する辭令交付の後平井所長(道農業部長)から一場の訓示があり之に對して職員代表より答辭を述べ次いで今後の運營方針に對する説明があつて散會、愈々新發足の第一歩を踏み出し同所の活動は本道農業に劃期的成果を齎すべく各方面から多大の期待をかけられてゐる

半島縮刷版

赤誠の献納機命名式
【大邱】慶北一百七十萬道民が心を合せて空の勇士に送る飛行機慶北號ほか七機と京畿大邱府民號(高角砲)ほか五臺の晴れの命名式は海軍記念日の翌廿八日午後に[illegible]

小住宅五十戸を建設
【全州】住宅難緩和に一役を買ふ全州住宅組合は去る二十八日創立認可申請をしたが、組合員の出資金一千口(一口五十圓)五萬圓の外、大藏省預金部から低利資金十五萬五千圓を借入れ勤人向きの小住宅五十戸の建設に乘出し本年中に竣工の豫定

鳥の巣箱好成績
【新義州】平北道山林課では日本[illegible]を設けたところ好成績[illegible]

氷菓類の販賣禁止
【清津】最近の氣候不順にともなひ傳染病が猖獗してゐるので、消防衞生係では當分の間學校の賣店物アイスケーキ等氷菓類の發賣を禁止した

米英撃滅詩吟大會
【成興】日本古來の詩吟、劍舞を高く鼓吹しこれによつて敵愾心を昂揚しようと成南吟詠會では六月上旬から十一月にかけて『米英撃滅愛國詩吟劍舞朗詠大會』を成興國民學校で開催、每水曜日[illegible]

嬉しい秋刀魚の大漁
【長箭】長箭灣の秋刀魚漁も稍々本格的となり數日來連日大漁續きで各漁船とも每日五十擔、百擔の水揚げを示し漁港長箭は漸く活氣を呈して來た、この大漁はこゝ當分續くものと見られ業者は大いに張り切つてゐる

われも征く撃滅へ
山中氏の銅像も赤裸

に似た崇高なものを感じます、我はこの壯烈な山崎部隊に續いて大東亞戰爭を勝ち拔き[illegible]邁進しなければならない、殊に半島若人は明十九年度から徴兵制が實施され、米英撃滅の第一線に立つ光榮の機會に惠まれましたが皇軍の有爲な一員として英靈の遺烈を繼ぐ心掛けねばならない

江原春川邑開發の恩人故山中友太郎氏の銅像も赤襷勇ましく米英撃滅のため勇躍應召した、氏は徳島縣人、明治四十年に來鮮、實業界に身を投じ春川電氣社長、京春鐵道重役、春川商工會會長、江原道會副議長等の要職につき、春川邑開發向上のため日夜挺身、昭和十三年春、物故したが氏の恩顧を蒙つた人々が故人の偉業を記念するため四尺丈の胸像を春川公會堂前に建立したが、このたび令弟與氏、遺兒龍夫君を初め遺族達が協議のうへ獻納することに決定、卅日午前十一時同公會堂前で村上委員長を初め遺族、知人ら多數參列、壯行會を擧行、卅一日午前十時、遺族や知人等に見送られて春州發、午後二時城東驛着、令弟與氏ほか三名に護られて海軍武官府へ運ばれたなほ京城鐘路[illegible]女學校生徒一同も[illegible]

郵便局長會議
七日遞信局で

京城地方遞信局では管内普通郵便局長並に工務出張所長事務打合會を七日午前九時から同局會議室で石田遞信局長、深川監理課長列席、富岡地遞局長統裁の下に開催、當日は午前七時朝鮮神宮に參拜のち詔書奉讀式を擧行、午後四時打合會終了後直ちに會場を鍛田錬成道場に移し錬成の『行』生活を忍とした錬成を行ひ九日正午會散する

市電の追突
重輕傷廿四名

廿九日午後十時十五分ごろ東大門發元町行電車=運轉手西川(二七)=は不注意のため鍾路町停留所に停車してゐた東大門發麻浦行電車に追突して兩車とも前後方を大破し、乘客の中から負傷者四名輕傷者廿四名を出した、負傷者は直ちに日本赤十字病院に收容加療中であるが、所轄鍾路署司法係では西川運轉手を業務上過失傷害罪として嚴重取調べてゐる

温い救ひの手
感心な二青年

飢餓と病氣のため街を彷徨する見ず知らずの他人に旅費を惠んで歸郷させた篤行の人＝去る廿九日午後一時ごろ岡崎町八〇愛國ベイント店前の道路上で苦悶する半島婦人を同店の平沼判石さんが發見事情を訊ねると

青年は慶尚南道山清郡生草面於西里金白生君(二七)で二年前成興で出稼勞働者として増産へ敢闘してゐたところ家道の都合から歸鄕の途次

廿七日京城に立ち寄つたが不幸病に罹り、持金全部も使ひ果し病氣と極度の空腹に倒れてゐたのであつた、平沼さんは早速附近の派出所に屆け出んとしたが、この時通り合はせた錬兵町一三〇子安新一郎君と青葉町三ノ九五南條潤君の二人は"それは氣の毒だ、困るときはお互さま"と懷中から出し合つた廿圓を旅費として與へ不遇の半島青年に温かい救ひの手を伸べて立去つたのだがこの奇特な行爲が廿日龍山署に知れたものである

血涙の献金

北洋の孤島アッツの暗鐵の中に十部に餘る敵を向うにまはして肉彈血河あくまで"海行かば水漬く屍、山行かば"の『アッツ島守備隊の血戰』"まで"の谷萩報道部長の放送は銃後國民をして齊しく感涙咽せしめたが京城水標町三源原致陂氏は"仇敵米英吹き潰す"の氣概を込めて卅一日金五十圓を血涙の中に持參國防献金として本社に寄託した

訃報

森島源藏氏 京城府永登浦町四三八森島源藏氏は病氣加療中の處卅日午前一時逝去した、葬儀は卅一日午後四時自宅で執行、享年五十九

同氏は永登浦邑最後の邑長として京畿府の行政區域擴張に際して京城府龍山出張所長を務り同官長を退き爾來實業界に活動中であつた

ラジオ 1日

朝 七・三〇音樂(レコード)九・〇〇婦人と家庭 文學博士洞原…一一・〇〇國民學校放送『二年生の時間』お話『聞く話見る話』—松本正日

晝 正午時報(城)默禱▲〇・三〇マンドリン合奏1、空の進軍 2、榮興の爵 3、銃後の花 4、行進曲『三つの百合』—東京マンドリン宮田樂團、管絃樂1米洗ひと雑巾掛け2東亞の光東洋管絃樂團▲一・〇〇長唄(レコード)新曲湖島 松永和風ほか▲二・〇〇國民學校放送『高學年の時間』大東亞地理マライの話▲四・〇〇國民學校放送『教師の時間』六年理科の取扱ひ方 京城放送

夜 午後六・〇〇少國民の時間(放送)軍國母性の時間(前略)[illegible]▲六・三〇(城)京畿高女校長[illegible]を語る(鮮語)▲七・三〇(城)南太平洋血戰場海軍報道班員辻紀、潜水艦隊に從軍して海軍報道班員山岡莊八、國民合唱航空音樂團▲八・〇〇(城)獨唱、合唱と管絃樂▲管絃樂『トラヴアトーレ』抜萃曲2獨唱3合唱4管絃樂…▲九・〇〇(城)放送劇『若い人々』(鮮語)京城放送專屬劇團

大いなる祭
ふるさと(七) 【148】
中野實(作)
三芳悌吉(繪)

いつたい、どうしてフロイスが台灣へ現れたのであらう。第三國人としてか。

英子はフロイスの潜入方法について、いろいろ想像した。が、その謎のやうな彼の行動を容易に解くことが出來なかつた。

ともあれ、絶對に彼を見逃してはならない。彼女はさう決心し、緊早く手廻り品をまとめて、待機した。緊張が彼女の心を快くゆすぶり始めた。井關と別行動を起してゐる今、却つて、彼女は、仕事に夢中になつてゐる方が氣持が樂であつた。

間もなく列車は台北驛に辷り込んだ。ひよつとするとこのまゝ基隆へ行くのではないかと案じたがフロイスは、悠然と驛のホームに降りたつた。さつきの二人の女連れも一緒である。

驛を出ると三人は俥に乘つた。ところが、生憎、俥は三台きりしかなく、まごまごしてゐると彼等を見失つてしまふ。

彼女はやきもきした。が、突嗟に、彼女は自分の前を通りかゝつた本島人の少年をつかまへて、五十錢札を握らせながら俥を指して、何處へ客を送り込むのか聞いて來いと命令した。

少年は驅け出して行つたが、すぐ戻つて來て、

『ホテルへ送るんだつて』と云つた。

ホテルと聞いて彼女は安心した。それにしても、フロイスが白晝堂々と日本の旅館へ止宿することが一寸變だと思つた。なににしても、はたしてフロイスが送り込まれたか、たしかめなければならない。驛前の廣場をつツきつて、彼女は足早にホテルに急いだ。

恰度、玄關前の植込みの前まで來た時であつた。さつきの二人の女が、何か話し込みながら出てくるのを彼女はみつけた。場合によつては井關からの話のあつた特務機關の連絡所へ二人を送行しようと決心し、しかし、表向きは何氣ない風を裝ひながら、英子は、大膽に二人に近づいて、

『ちよつと……』と本島語で話しかけた。二人は別に怪しむ樣子もなく足を停めた。

『失禮なことを試くやうですが、今、あなた方と一緒にこのホテルへお入りになつた外人の方がありましたわね』

『えゝ』

『どこかでお見かけしたやうな氣がするんですけど……』

『どこで?』

と脊の低い方の女が反問した。

『さあ、それが一寸記憶にないんですけど…。お名前はたしかフロイス氏……』

『さうよ』

のつぽの方は頷いて、

『もと高雄の××の領事館にゐた方よ』

『あゝ。さう、さう』

と、英子はやつと合點が行つたやうに頷いて、

『さうでしたわね。道理で何處かでお目にかゝつたと思つたんですわ』

『あんた、よく御存知なのね』

と脊の低い方が、一寸探るやうな目つきで英子を見た。

『いえ、二三度高雄の町で會つたことがあつたもんですから、さう。おやあ、また最近、日本へいらつしたんですのね。みなさん、よく御存知?御存知だつたら、一度紹介してくださいません?』

××國なら、第三國の人だから、別に交際してもいゝんでせう。

わざと無ツ氣に、英子は、外人崇拜の女らしい口ぶりで、餌をかけた。

中野高等無線
校長 從三位勲四等男爵 沖貞男
本科 中卒程度・修業一年 國初卒
普通部 中二程度・修業二年 國高卒
陸軍省・海軍省・遞信省・船舶・放送局・滿洲國・外地方 無線通信士及無線技術者養成を目的トス
無試驗入學・規則書要三錢
東京市中野區江古田・電話中野七〇五三・五九七三(學校寄宿舍)

京日案内
案内料金(前金)
種別 一件一回税込
一號型(三行) 金參圓參拾錢
二號型(五行) 金五圓五拾錢
三號型(十行) 金拾壹圓
求職 一號型 金壹圓
姓名判斷 每回 臺囘拾錢
午後五時まで廣告部へ御申込みの事

一號型(三行)
電話 賣買 京城府内 電話 本局 2237
看護婦 京城府[illegible]番地 [illegible]
家庭教師 [illegible]
求職 [illegible] 成日
下宿 [illegible]
貸間 [illegible]
ヴアイオリン、ギター、其他樂器 長谷川町[illegible]

二號型(五行)
賣家、電話つき [illegible]
採用事務員 [illegible]
帳場 [illegible]

三號型(十行)
女子事務員採用 [illegible] 株式會社 三共商會京城支店
女子計算係採用 [illegible] 株式會社 食堂 萬・鼎 電本二八八九
時計修繕技師 [illegible] 株式會社 村木時計店 電話本局(2)四七一番
婦人女子 ミシン教師 一名 京城本町二 村木時計店 電本四七一番

朝鮮殖産銀行

古本 高價買入 京城明治町・電本三三二七 金剛堂書店

內科小兒科 横山醫院 南大門通六丁目 醫學博士 横山久衛 電話東局二二一六 入院應需

クロダ齒科 齒科一般及レントゲン科 本町一

耳鼻咽喉科 醫學博士 韓基澤 京城和信裏 電光⑨671

安田産婦人科 入院應需 醫學博士 安田 京城旭町二(三越裏側) 電話本局②四六五五番

書道錬成 [illegible]

徳永小兒科 醫學博士 中橋幸馬 西小門町四一 電光③1960

衣笠産婦人科 旭町一丁目一八八 醫學博士 衣笠茂 電本5912

姜耳鼻科 京城府仁寺町一三七 醫學博士 姜日永 電話光③三七一〇

謄寫印刷 プリント 京城[illegible]

外科 皮膚泌尿科 同仁醫院 醫學博士 鄭準謨 電光2374

コルセット義手足 優秀技術 改良セル製品 型録進呈 高野義肢製作所

白川醫院 內科小兒科 醫學博士 白川寬 京城元町一丁目一〇八 (元・平岡醫院跡) 電話龍山④1151

アイロン [illegible]

消防ポンプト [illegible] 京城消防組[illegible]

花柳病泌尿科 安部醫院 [illegible]

劇場	番組
城寶	二十七日より ニュース 榮光の日 海ゆかば
明治座	二十七日より 日本ニュース 北の仔 海軍戰記
京日文化劇場	榮光の日 マー坊鐵血陸 基地の建設 日本ニュース
若草劇場	廿七日より 北の仔 日本ニュース 海軍戰記
城南劇場	二十九日ヨリ五日間 日本ニュース ハナ子さん
中央劇場	二十九日ヨリ五日間 日本ニュース 廣東進軍抄 子供ごころ ハナ子さん
和信映畫館	二十七日より六月二日迄 日本ニュース 森の野球團 榮光の日 基地の建設
朝日座	二十九日より五日間 松竹爆笑演藝大會
桃花劇場	六月一日ヨリ四日間 生きた慰問袋 富士に立つ影
喜樂館	五月廿九日より五日間 日本ニュース 朝鮮に來た俘虜 護る影
浪花館	一日ヨリ ニュース 我等今ぞ征く 幽靈大いに怒る
新富座	六月一日ヨリ四日間 日本ニュース 我等今ぞ征く 幽靈大いに怒る
東洋劇場	二十九日より 青春座 眞實路
大陸劇場	廿九日ヨリ 日本ニュース 朝鮮に來た俘虜 護る影
京劇	二十七日より 日本ニュース 榮光の日 海ゆかば
第一劇場	場内修繕中の爲休館仕り候

不動産競賣公告

[illegible]

京城都藥房 藥
世に誇る獨特秘藥
急性慢性を問はず如何なる惡性の淋疾でもたつた四五日内服にてしかも何等副作用なく完治の目的を達せられる
京城驛前 都藥房

メタリコン(金屬熔射)
シリンダーブロック シリンダーヘッド 龜裂・磨耗・破損
クランク シャフト 各軸 シャフト 肉盛・原寸・再生
輕金屬合金の破損磨耗修理加工
防錆・耐酸・耐熱・特種鍍金・加工
日本メタリコン工業所總代理店
朝鮮メタリコン工業所
京城府本町五ノ二ー・電話東局二五四一番

ハニメガ爲ク拔勝
先 健康ナ體力ヲ
健康ハ先ヅ胃腸ノ整備ヨリ
◎胃腸病者ニ推奬スル高貴和漢配合劑
◎如何ナル難治ノ胃腸病ニモタツタ二三服デ効果ヲ濟ス
富士胃腸藥

行け南方共榮圏へ大陸へ
大日本海外青年會
[illegible]

京城日報 夕刊
京城府太平通一丁目三十一番地
發行所 合資會社 京城日報社
編輯兼發行人 高宮太平
印刷人 [illegible]

小磯總督、杉山參謀總長訪問

【東京電話】小磯總督は卅一日午前十一時參謀本部に杉山參謀總長を訪問、上京の挨拶をかねて種々要談した

反樞軸機、レーヌを盲爆

【ベルリン卅日同盟】反樞軸空軍は卅日ブルターニュのレーヌを再空襲したが、非常な高度から主として住宅地區や墓地、病院などに爆彈を投下、百十五名の死者を出した

仇敵米英を撃滅し 絶忠の英魂に應へん

アッツ島守備隊の血戰に 板垣軍司令官語る

アッツ島守備隊山崎大佐以下將兵二千數百名玉碎す、勝利か然らずんば死を求め精强無比の皇軍魂は北溟の孤島アッツの氷霧を殉忠の鮮血に彩つた、寡兵よく吾に十倍する新鋭備兵を蹴損しつゝけること二旬、天皇陛下萬歳を絶叫しつゝ鬼畜米軍主力部隊に向つて突入最後の一兵に至るまで護國の華と散つたアッツ島守備隊の絶忠皇軍魂の悲壯は卅日十七時の大本營發表によつて銃後一億の胸底をかきむしつた、一讀して止まむ感懐心が悲報を聞く者の懐内をかけめぐるのである。續いて午後七時過ぎ谷萩報道部長は『血涙を呑みつゝ』『アッツ島の血戰に就て』と題しラジオ放送を行ひ倒れてなほ止まざる二千數百の忠魂に對し一億共に感激なる合掌を捧げたのである

『外に求るに非ざるも萬一を顧慮し武人の名を汚すべきに非ずと覺悟し、部下一同も莞爾として共に死に赴く』節の報告を最後に山崎大佐以下二千數百の皇軍精鋭は一丸の火の玉と化し凱れる鐵鎚をふりかぶつて米鬼の眞只中に躍り込んだのである

これより先武魂香しき戰傷者一同は攻擊に參加し得ざるを知ると潔く自決の足手まどひになるを恐れていづれも從容と自決したしかも肉體をはなれた護國の英靈はなほ必滅の忠魂と化して敵陣に突入したのだ、此壯烈、此悲壯、此忠魂を讃へんに正に辭りる言葉なく肚を決して身ぶるひを感ずるものである。優秀装備を擁む二萬の米鬼は加ふるに多數の戰車火砲を以てしてある。これに對した山崎大佐以下わが守備隊は二旬に近い激戰苦闘に一人斃れ二人斃れて突擊寸前には生存者僅かに百數十名の寡兵であつた。勝敗は装備に非ず數に非ず。この寡兵を以てよく米鬼六千餘を殲滅して世界に嘖ばせる皇軍魂を遺憾なく發揮し今更の如く米鬼の心膽を寒からしめたのであつた

[illegible]に散つた忠魂永遠に安[illegible]我等は誓つて復仇する、[illegible]一人殘さずにはお[illegible]に擧し半島二千五百萬も襟を正して誓ふ

必ず九天の忠烈に應へる、我等に課せられたものは生産戰士として敢闘することだ、飛行機を、軍艦を、砲彈を、戰車を、一機でも、一台でも多く生産するのだ、消耗戰にうち勝つ爲には増産だ、増産だ、そして補給戰に絶對勝ち拔くことを誓はう、これこそ二千數百の絶忠の英魂に應へる唯一の道なのだ、卅一日この撃ちてし止まむの誓ひも固く板垣軍司令官を訪へば、軍司令官は次の如く『誓つて山崎大佐以下の絶忠に激起し、仇敵米英の撃滅に邁進せん』と正に誓を決して語つた【寫眞＝語る板垣軍司令官】

◇

將兵能く北海の孤島を死守し遂に最後の手兵と共に優勢なる敵中に斬り込み莞然而も莞爾として護國の鬼と化せる山崎大佐以下二千數百名の絶忠を偲ぶとき予は將兵と共に心中深く決するものがある

本戰闘の結果に徴するも大東亞戰爭は愈々本格的決戰段階に突入しつゝあり、喰ふか喰はれるかの死闘決戰が險戰として押し寄せ來りつゝあるのが直觀せられるであらう、今や飛行機に船舶に更に火砲彈藥、戰車に一億國民を擧げ總進の熱血死闘が繰り展げられなければならぬ、平和時代の惰勢は速かに拂拭し去るを要する、女も子供も老いも若きも生活の悉くを擧げて戰勝の一途に捧げなければならない、山崎大佐以下の英魂は必ずや一億國民の心を揺り動かし安逸を去り敵國の氣風に徹せしめ以て生活戰線に増産戰線に、而して第一線將兵への補給戰線に絶對勝利への道を切り開かしめること必定と確信する、重ねて言ふ事は愈々で山崎大佐以下の絶忠に應ふ念に燃え、仇敵米英の撃滅に邁進し以て一刻も速かに上宸襟を安んじ奉らんことを期す、一億國民亦宜しく並み愈々戰時努分の自覺と之が完遂に徹せられんことを望んで止まぬ次第である

一億國民奮起の秋

相川翼贊會實踐局長談

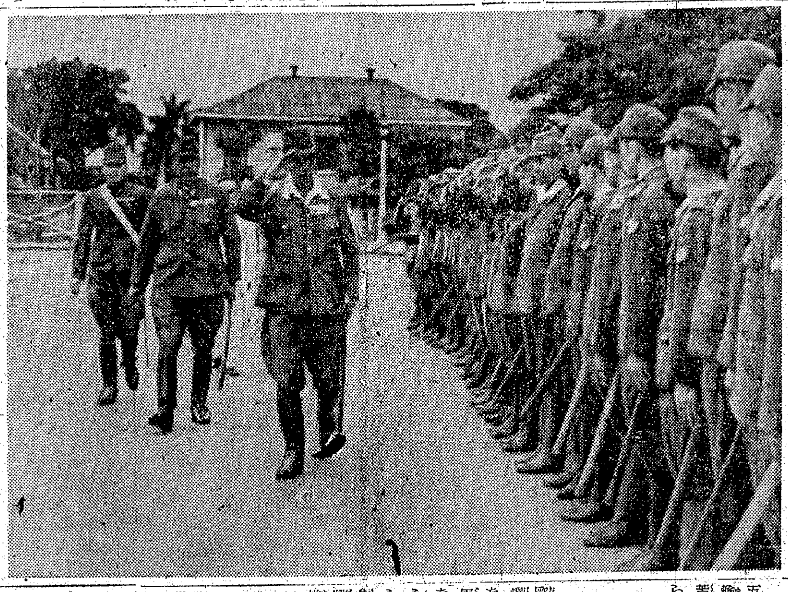
われ〱銃後の國民はたゞ〱心から感謝の頭を垂れるのみです、殊に山崎部隊長以下二千の將兵の最期は日本精神の發露であり死して後已まむの闘魂を文字通り實踐したものである、由來昔から日本人の戰爭には全勝か全滅があるのみで、この最後までやり拔くといふ日本魂あつてこそ我に數倍する敵に大鐵槌を下し鬼神をも哭かしむる戰果を擧げることが出來たのである、われ〱銃後の國民はこの楠公父子にも比するアッツ島將兵の七生報國の大精神を心に銘きつけて敵米英撃滅に驀進として奮起しなければならない、一億日本人の總力を結集して敵にぶつかる時が今こそ來たのだ、今や國民の一人と雖も遊んでゐることは許されない、アッツ島の將兵と同じ心構へで一人々々が職域を守り大東亞戰爭を勝ち拔かねばならないのだ

この度の戰爭でも日本の將兵は最後の一兵まで全力を傾け斬り死したのである、世界どこの國においてもこのやうな勇敢、敢闘の精神は決してみられない、これを降服するか捕虜となることを名譽とさへ思つてゐる敵米英に比せば日本將兵の偉大さを、强さを、世界全民族は改めて認識するであらう、中でも山崎部隊長が必死の運命にありながら日本の將來の作戰までも考へ貴き記録を詳細に報告したのち從容として最期を遂げた壯烈なる責任感は誠に日本軍人の龜鑑であり、國民はこの精神を永久に生かしてアッツ島の英魂に應へ敵殲滅の總進軍を開始しなければならぬ

勇士らの至情を指標とせよ

武者小路實篤氏談

濃霧の中に今は如何に激戰をつゞけてゐるかと異常な關心を持つてゐたところへ突然の知らせなので



初登廳の黑田比島派遣軍最高指揮官（電送）

忠魂を肝に銘じ 生産戰を闘ひ拔け

小畑產報理事長談

全く腸のつまる思ひがしました、しかし日本國民こそ、この悲報に悲憤する如き國民ではない、大らかな意氣と死してなほ北海の水漬く屍を溶かす熱い忠誠心をもつて生まれた國民です、最後に玉碎する皇軍の雄さこそ米英の心膽を寒からしめたでせう、生死を超越した內にあるこの忠誠心、忠君愛國の至情から迸る皇軍魂こそ、これを私たちが毎日の生活に、活動に、仕事に指標とすべきものであり日常生活の上に一瞬たりとも緩みなく米英撃滅を誓つて實踐してこそ今は亡き北海の戰友にも報國の御と賴目して頂けると信じます

大東亞戰爭開始以來今日までわが國は諸戰の戰果に次ぐ勝戰の連續であり、多少の犠牲を蒙つたとはあつても、この度の如き皇軍一兵殘らず玉碎するといふことはなかつた、この報道に接し一億感慨と淚を流さぬものはなかつた、然し顧みればこの大戰爭下にかゝる悲壯な戰闘が起るのは當然であり今後もなほあることを覺悟すべきであり、これによつて銃後一億が少しでも悲觀するやうなことがあつてはならない、今こそ一層强い決意をもつて米英撃滅を誓ふのであつて、われ〱產業人としても北海の涯に散華した皇軍の心を心として日夜生産に敢闘しなければならない、敵米國こそわれに倍する生産陣を誇つてはゐるがこれに後れをとるやうなことがあつてはならない、われに十倍する生產力を敵がもたうともアッツ島にわれに十倍する敵兵力を邀へて最後まで玉碎した皇軍の尊き魂を生產人の魂とし、米英撃滅の生産戰に玉碎するまで闘ひ拔き北海の勇士に應へ奉るべきである

ド・ゴール、ジローと會談

【リスボン卅日同盟】『戰ふフランス』の總帥ド・ゴールは卅日朝空路アルジエーに到着、北アメリカ傀儡政權ジローとの會談に入つたが、アルジエー放送によればフランス領北阿問題に關しド・ゴール、ジロー兩者間に完全な意見の一致を見たといはれる

イラン北部で衝突事件

【イスタンブール卅日同盟】テヘラン來電によれば、卅日イラン北部においてイラン住民と赤軍駐屯部隊との間に衝突事件が發生、米英ソ三ケ國代表委員が現場に急行して事件の眞相を調査中である

チャーチル、ジブラルタル着

【ベルリン卅日同盟】英國首相チャーチルはワシントンにおける十數日の會談を終へ廿七日ジブラルタルに到着、フランス傀儡政權首席アンリー・ジロー並びに米軍司令官アイゼンハウアーなどと會談したと傳へられる、滯在二日ののちチャーチルは廿九日アルジエーに向つたと傳へられるが確報ではない

米の侵略行動痛撃

マルチニツク島總督抗戰を決意

【ブエノスアイレス卅日同盟】米國政府は佛領マルチニツク島に對し食糧を餌に何らかの口實を設け同島を占領しようとしてゐるが卅日ユーピー特派員の質問に對しマルチニツク島のロベール總督は次の通り確言した

從來マルチニツク島は年々二萬五千トンの食糧を輸入してゐたが輸入が杜絶した爲島民は食糧難に苦しんでゐる、米國から牛乳が入らなくなつた結果兒童の健康は著しく惡化し醫藥不足で病人も苦しんでゐるが島民はあくまで自由の民であり祖國のために一身を捧げてゐる、米國政府がマルチニツク島を保護觀化する如きは全くの侵略行動にほかならず力の亂用である、余はマルチニツク島を擁護するやう本國政府の命令を受けてをりフランス國民の名においてかくの如き侵略行動には斷然抗戰することをこゝに言明す

快速艇七隻を撃沈破

獨ダンケルク沖海戰々果

▲海上戰 獨海軍はフインランド灣において對潜水艦作戰を行ひ赤軍潜水艦一隻を撃沈した

海軍當局は廿九日佛國ダンケルク沖合で沿岸防備艇隊が英國の快速艇二隻を擊沈した旨發表したが、後刻到達した情報によればドイツ艦隊が同海戰において英國の快速艇五隻を撃沈、さらに二隻を炎上大破させたことが判明した

一方ロンドン來電によれば、英國海軍當局も右海戰に關する公表において砲艦一隻の喪失を認め艦隊司令官リチャード海軍少佐が戰死した旨發表した

敵船十五隻撃沈

獨軍發表

【ベルリン卅日同盟】ドイツ海軍當局は卅日つぎの通り發表した

一、獨潜水艦は最近大西洋南北の全海域にわたり作戰中であつたが、反樞軸船舶十五隻總計九萬トンを擊沈した

一、反樞軸空軍爆擊機は大編隊を組んでドイツ本土西部地方を爆擊し來つたが、獨空軍はこれを邀擊、その大部分を擊墜した、右來襲機はほとんど四發重爆擊機である

佛元參謀次長脱走

【ヴイシー卅日同盟】アルジエー來電によれば、フランス陸軍元參謀次長ジヨルジユ大將は最近南部フランスから脱走して、北阿佛領樞敵軍に合流したといはれる

敵六十七機撃墜

反樞軸軍、後方攪亂を企圖

【ベルリン卅日同盟】反樞軸空軍は歐洲上陸の困難にかんがみ、專ら爆擊によつて獨伊兩國の後方攪亂を企圖してゐるが、廿九日夜英空軍がルール地方のウツペルタールを空襲した際卅三機を喪失し、さらに同日西歐洲の獨軍占領地帶ならびに地中海において卅四機を喪失した、しかも同日の大半は四發爆擊機で、乘員戰死五百名にのぼると推定される

敵艦船九隻撃沈破

伊空軍、地中海に出撃

【ローマ卅日同盟】反樞軸空軍はサルデニア島、シチリア島、パンテラリア、ランペヂユーサならびにメツシナ海峽に對し、猛烈な爆擊を加へてゐるが、イタリア軍の對空砲火は過去一週間だけでも主として四發爆擊機ならびにリベレーター爆擊機からなる反樞軸空軍百五十機を擊墜した

さらにイタリア空軍は前後二回にわたりメツシナに來襲した反樞軸軍の四發爆擊機と熾烈な空中戰を展開し、一時間半のうちに十四機を擊墜した

イタリア空軍攻擊部隊は地中海西部ならびに東部に出擊し、反樞軸護送船團を捕捉、商船五隻を擊沈し、驅逐艦二隻、油槽船一隻、貨物船一隻に損傷を與へた

さらに伊空軍の雷擊機隊は夜間スーサ、ビゼルタ、ボーヌ、ティジエリの諸港に爆擊を加へ、長距離戰闘機隊はエル・ダバ、マルサ・マトルー間の海岸道路を爆擊し、さらに他の一隊は伊空軍基地から三千キロも隔つた紅海のスーダンを攻擊、軍事目標物を爆擊した

ゲリラ部隊を潰滅

東部戰線戰況

【ベルリン卅日正午公表】獨國防軍大本營

▲東部戰線 一、クバン橋頭堡に據る赤軍は强力な野砲陣の掩護下に局地攻擊を開始したが、獨

荒鷲、重慶空襲

【リスボン卅日同盟】重慶來電＝日本航空部隊が廿九日重慶上空に來襲し、午前九時卅分から十時四十五分まで空襲警報が發令された

第二次作戰終了

赤軍完全に敗北を喫す

【ベルリン卅日同盟】東部戰線の戰局は目下クバン橋頭堡の爭奪戰に終始してゐるが、この方面における赤軍の第二次作戰はすでに完全に終了を見、赤軍は莫大な損害を蒙つて後退するに至つた、デー・エヌ・ベー通信副総特派員エルンスト・フオン・ハンメル大佐は卅日次の通り述べてゐる

クバン橋頭堡における戰闘は第二の段階を終り赤軍は甚大な損害を蒙つた、過去三日間にわたる獨軍の集中攻擊により赤軍はヴオロシースクからテムルイクに至る地區で完全に敗北を喫しすでに反擊の餘力を失つてゐる、尤も局地的には赤軍は反擊に出てゐるが、これはいづれも微弱で獨軍の猛擊の前に挫折してゐる、獨空軍は地上部隊と協力し敗走する赤軍に攻擊を集中してゐるがアゾフ海沿岸の一地區では赤軍の上陸用舟艇五十隻を擊破した、このうちで赤軍が喪失した兵力は少くとも一個師團を下らぬ見込みである

赤軍飛行機の活動も廿八日に比較して微弱であつた、クバン橋頭堡の第二次作戰で赤軍は戰車百四十八台、飛行機百八十六を喪失したがこれは三個戰車旅團、六個飛行聯隊の喪失に等しく砲、銃機の損害は特に著しい、赤軍兵員の損害は一層甚大でマスレニコフ司令官麾下の十五乃至廿個兵師團のうち大部分は殲滅された、東部戰線の他の地區では特記すべき戰闘は行はれず中部ドネツのリシチヤンスク西北地區の赤軍の小規模な反擊は完全に挫折した、一方獨海軍部隊はフインランド灣で敵潛水艦一隻に爆雷攻擊を加へてこれを擊沈した

伊政府生產省設置

【ローマ卅日同盟】イタリア政府は物資の配給と物價の調整を管理するため新たに生產省を設置する旨卅日朝發表した

消息

◇宮池西郎氏（本府穀物檢査所々長）卅一日『あかつき』で歸城
◇中間高州氏（帝國銀行京城支店長）卅一日『あかつき』で歸城
◇岡田嘉郎氏（商居商店常務）六月二日高津へ六日歸城豫定
◇杉山茂一氏（京城商議理事）釜山へ出張中卅一日歸任

決戰半島に告ぐ ⑧

起ち上れ"青年半島"

進む基地經濟　松原純一

滿洲事變から支那事變、更に大東亞戰爭へと、世界戰局の進展と發展に照應しつゝ東亞の情勢は怒濤のやうに渦しく目まぐるしい進展を續けて來た、この時代の大きな流れの中にあつてその勢と共に我が朝鮮も亦『大陸の兵站基地』の名稱に表現されるやうに、必然的に背負ふべき新しい使命に立つて駸々乎として發展して來たのであるが、それは併合以來わづかに卅餘年の成長ぶりとしては世人を瞠目さすに足るものであるといへるのである

之を　要するに草創期における全くの內地依存主義から自立經濟へ、更に滿洲事變、支那事變の勃發と共に進んで東亞共榮圈の一環としての兵站基地經濟へと成長したのであるが、特に大東亞戰爭の突發するに及んで今や半島の持つ兵站基地としての地位は我が國戰爭完遂の國家上益々その重要性を加へて來り、かくて今や朝鮮經濟產業界は文字通り劃期的な一大飛躍期に直面してゐると斷定し得るのである

この間にあつて、內地の金融機構の中に一足先んじて朝鮮における各種金融機關を網羅する强力な金融團が組織されたのは全く以上のやうな朝鮮經濟產業の飛躍的發展に伴ふ要請に基くものであつた

以來　昨年末から今年初頭にかけて內地都銀行の統合、金融統制會の設立等內地金融機構の劃期的强化刷新に即應して更めて逐次整備を行ひつゝ今日に至りかくて地場銀行の數も減少し信託等も一本に統一され金融操作は極めて順調に進み得ることとなつた

しかし金融機關の受持つ資金經濟の動力源としての資金の供給は尚內地に負ふところが相當多いのであつて時局の要請に應へるには、地元の力はまだまだ薄弱と言はねばならない、しかし戰爭遂行への兵站基地としてまた大東亞共榮圈經濟の一環として、朝鮮に負荷される使命は今後益々加重される一方であるから、この點に鑑みる時、將來朝鮮の金融機關としては今後何としてもより多い資金の吸收を圖るべく努力せねばならない

而して資金吸收上その貯蓄性からみても

貯蓄　による資金の吸收を圖ることがこの際の最大眼目でなければならない、この點よりして、私は朝鮮に對し、時局認識に基く貯蓄獎勵運動を先づ第一に叫ぶものである、幸ひに官民擧げての努力の結果、年々の貯蓄實績は目標額の百パーセントを超え、その增加率も內地のそれに匹敵してゐるのであるが、一方手形交換高、物價交易高、乃至は生產額から見るとき、餘裕は尚充分あるのであつて現在の貯蓄額位では未だしの感を深うするものである

この點に思を致し一般大衆も資本家も金融業者も官と一體になり層一段の創意工夫をこらし、あげて預金、貯蓄報國に邁進することを切に要望する次第である

朝鮮水產業の昨年度の不振は貯蓄も多少の影響を及ぼすであらうが、而し、私は、私の在鮮當時より常に心に抱き又人にも語つてゐたところの『青年朝鮮』の意氣と力で必ずやこれらの惡條件をよく克服して日に月にその目的に向つて邁進するものと信ずるものである

青年　朝鮮—この『青年朝鮮』の圏內には滿洲事變を契機として輕工業、化學工業、輕金屬工業等々と急激の勢ひで勃興して來た偉大な工業力を內包してゐるのでありまた鐵鑛、特殊鑛物等無盡藏の地下資源をひそめてゐるのであり、また豐富な勞動力、高度の電動力をも持つてゐるのである。これらが一つになつて躍くとき"青年朝鮮"の前途は未だに瀰々たるものがあるのである、從來は生活必需品の大きな部分すら內地に求めてゐたのであるが、大東亞戰爭の輝々たる戰果により豐富な南方資源が利用できるとはいへ朝鮮としては大東亞共榮圏の指導的地位の確立に邁み、進んで內地の手助けをするの積極的態勢を執り更に滿洲その他諸地域に向つて諸種の物資を供給する態勢力を整備せねばならない

このやうにして前進兵站基地としての使命を果すと共に、真の內鮮一體化は實現され、より固くより密に、第二の內地としての半島が顯現されるのである

內地　そして『青年朝鮮』それに廣大なる大東亞諸地域、私はそれらが日本人の指導下に真に物心兩面においてあげて一丸となり以て聖戰の大戰を完遂するの日の早からんことを熱望してゐるのである【寫眞＝松原純一氏】

語る人　松原純一氏は島根縣出身で明治四十一年神戶高商卒業後鮮銀に入り本店勤務を經て昭和十一年十二月から滿一年間滿洲興銀副總裁として朝鮮を離れた以外は終始鮮銀に職を奉じた生粹の銀行家であるが、鮮銀總裁は昭和十二年十二月就任し五ケ年餘に亘つて半島金融界の元締めとして光つてゐた

兵器・彈藥の製造に……
白金の大動員！
白金の即金買上取扱ひ
6月1日→10日・於四階美術部
主催・京城府・戰時物資活用協會
京城 三越

救急函に！
鎮痛 消炎 解熱
ピスメン
ぜひ常備あれ
火傷、うちみ、くじき
手足腰痛、關節炎、筋肉痛、神經痛等に
藥店にあり
大木合名會社

食慾不振 便秘に
おなかが空くぐすり
ホシのクスリ
完全消化 ピルツ劑
澱粉・脂肪・蛋白質を完全に消化し、食べたものを無駄なく榮養化する强力ピルツを主成とし、ビタミンB・Dその他高單位榮養源を綜合併配せる本劑は、速に食慾を振起し正確なる便通を促します
一ケ月量五〇錠 一圓五十錢
ゼーロクミ ホシ
東京 五反田 星製藥株式會社

胃腸整調に
エルビオゲン錠
エルビオゲン錠は强力ビタミンB2を主劑とし、各種ビタミン、カルシウム消化酵素等を配合してあるから胃腸整腸・榮養補給に極めて有效。

補血强壯に
ビオトニク

洗濯石鹸代用品！
㊖許 國策洗劑粉末
㊖許 ヨクサン洗液
㊎公 固型クレンザー（洗濯用）
過去二ケ年販賣し効果顯著定評あり
絶對に他の追隨を許さゞる最優秀品
朝鮮總督府查定價格濟
◎代理特約店募集
◎企業許可不要
新興化學工業所總代理店
發賣元 新興產業社
小賣部 荷捌所

職場ニ必携
仁丹
時々含む仁丹は
疲勞 倦怠 惰氣を一掃！
常に新しい生氣が漲る
數粒明快・能率倍加
仁丹

噛んで食物を採れ
■食物から榮養を充分に採るにはよく噛むことそれには齒を丈夫にすることが大切です
（中煉）
資生堂齒磨
東京銀座 資生堂
二十三セン・五十七セン

さあ增米へ突擊だ
田植期の陣容整ふ

食糧增産の決戰期に入り農村は田植に麥刈取りに愈々待ちの突擊戰を展開せんとしてゐるが早くも天水畓と南鮮地方の一部の水利安全畓を除き全鮮の農村は一齊に田植前哨戰の火蓋を切つたが、白兵戰ともいへる農繁期は六月十日頃を中心にその前後に展開され愛國班を中核とする部落共同作業の逞々しい田植戰線も始められ都邑からは愛國班、青年隊、會社、工場、婦人團體等も援軍に出動することになつてゐる外總督府からは農林局の幹部を總動員し來る五、六日頃から田植と麥適期刈取督勵班が組織され陣頭指揮に當ることになつてゐるなど、今年度二千八百萬石の收穫目標を目指し半島の全農村には食糧決戰へ總進軍のラッパが高らかに鳴り渡つてゐる

農村へ都邑人出動

さあ、田植だ、麥の刈取りだ、農村は一齊に繁忙期に入つた、食糧の增産はこの一戰にあるのだ、國民總力聯盟では食糧增産の決戰期に當り農村の全家族勞務はもとより都邑民も勞力の一部を農村に提供し增産に協力するやう〝農繁期の國民皆勞運動强化〟に就きつぎの如き實施要綱を提示し廿一日各道聯盟に檄を飛した

運動の方法は田植、麥刈期に當り主として農村以外の各町聯盟愛國班、各種學校、婦人會、青年隊、會社、工場、商店、その他の團體はそれぞれ自區作業の可能なる近隣の農村部落に團體で出動し田植、麥刈、除草、共同託兒所等に關する作業に協力する外適當なる作業を擇び實施するが、この運動は農村に對する感謝激勵の精神を具現するのであるから各自辨當を持參し農家からは報償等を受けないやうにし賦役勇士を出した農家や國名農家または之に準ずる農家へは優先的に作業を援助することになつてゐる

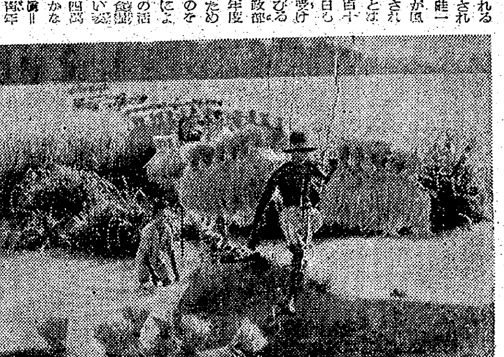
國際諜報團事件
けふ第一回の公判

【東京電話】去る四月、十四年十月以降東京地方檢事局が中心となり檢擧した所謂國際諜報團事件のフランク・ブルター・ツアイツング紙日本特派員リヒアルト・ゾルゲ（四八）アバース通信社通信補助員ブランコ・ド・ウーゲリツチ（三九）近衛家囑託宮城與德（四一）元滿鐵囑託尾崎秀實（四一）などにかゝる國防保安法、治安維持法ならびに軍機保護法の違反容疑は今回東京刑事地方裁判所の豫審を經て同公判に廻附となつてゐたが、いよ〳〵卅一日午前九時半から東京刑事地方裁判所第九部高田裁判長（陪席樋口、澁田判事）中村思想部長、平松次席、吉河檢事、佐竹（俊）辯護士立會のもとに刑事第一法廷で第一回公判を開廷、內務、外務、警視廳、憲兵隊等から關係官十餘名が特別傍聽を許されて入廷したのみで公判は開廷劈頭から公開禁止となり個別審理の形式によりこの日は尾崎秀實について非公開のまゝ事實審理が進められた模樣である

故山本元帥靈域工事進捗

【東京電話】故山本元帥を永へに神鎭めまゐらす靈地に當てられた東京府下多摩墓地の『名譽靈域』は去る廿七日來數十名の大工が入り込んで、毎日早朝から冴えた木槌の響きを赤松、雜木林に圍まれた靜寂な聖地に冴させてゐる、昭和九年日本海々戰の元勳東鄕元帥を鎭めまゐらす靈域に左する山本元帥の靈域には鉾矛を張廻らした工作所があり、靈屋の板造りに忙しく一萬四百二十平方メートルの靈域造りに工夫が多數敬虔な態の奉仕をつゞけてゐる、工事は國葬當日を週日のうちに控へて三分通りまで進捗してゐる

ミシンも村木



米の島ジャワ

『米の島』といはれるジャワでは植付がされて居るかと思へば畦一つ向ふは黄金の穂が風にゆれ、刈入れがされてゐる、氣候溫和で二百十日や二百廿日の厄日もなく太陽の直射を受けて稻はグングン伸びる收穫は大體年二回であるが軍政部では耕種改善の指導を行ひ昨年度の米作が豐作と雨期の順調のため例年より多少の減產であつたのを食糧管理事務所の萬全の處置によつて軍政の憂慮は農民に無限の活力を與へ感謝と感激はやがて食糧增產に邁進する農民の雄々しい姿となつて現はれジャワの年產四百萬噸を六百萬噸へと全島農民は朗かな增產運動を展開してゐる【寫眞＝稻刈取りの女（上）と籾を運ぶ青年＝前田特派員撮影】

征け！米英擊滅戰へ

戰爭は『鐵と鋼の消耗戰』といはれる、魚雷に、彈丸に、軍艦に、鐵、鋼、資源が無限に必要だ、米英擊滅のために勇躍應召した寺院の梵鐘がいま全國の蒐集鐵へと急ぐ時軍部の庭に積まれた金屬の山、その山も第四回目の出陣が目睫に迫つたのだ、連日勤勞をもつた食器時をつげ、行事を知らせる『諸行無常』の響きを傳へた寺院の梵鐘、生徒に無言の教へをたれた恩師の銅像も長い歴史と傳統をかなぐり棄てて赤襷姿も凛々しく軍部へ獻納されたのは數萬數低に達してゐる、こゝ京城在鄕海軍武官府の庭には、丁子屋店員生十八名が公休日を利用して應援作業だ、鋼をグツと握つて持ち上げ、響かせた火鉢をカ一杯うつ、ガチャン、ホツ端微塵だ、破片は左へ右へと飛び散り塊は立つ、傍へ入れて荷造り、朝運のトラツクに乘せられ送り出される【寫眞＝勤勞奉仕】

水戸陸軍航空通信學校卒業式

【水戸電話】水戸陸軍航空通信學校の卒業式は卅一日午前十時半同校々庭において航空總監代理羽□中佐臨席の下に擧行された、恩賜品拜受並びに航空總監賞を授與された榮の優等生は左の六名である

▲恩賜品拜受者　陸軍少尉星山殷（愛媛縣）▲陸軍航空總監賞　軍曹米山繁（新潟縣）曹長名取正敏（長野縣）伍長藤原一郎（京都府）曹長山本節潤（奈良縣）同鈎谷增雄（長野縣）

物資戰に備へよ！
あす府民館で講演と映畫の夕
本社主催

世界史を變革する大東亞戰は開戰以來一年有半にして近代戰の相貌を端的に表示、激しい消耗戰のうちに潮の如く進行してゐる、開戰前世界一の生產力を豪語して世界を壓倒せんとした米英は今や敗る米英がいかに天文學的數字の生產力をひつさげよし百年二百年至しい反擊を試みようとも我等は斷じて止まぬ不撓不屈の皇軍魂をもつてあくまで驅逐する一方物資戰に備えても斷じて油斷すべきでない、戰力增强に當る銃後半島の生產力は果して充分であるか、重要資材の確保はいかに——之等の切實な問題に應えんとして本社では戰時物資活用協會と共催、府朝鮮軍司令部、國民總力聯盟後援の下に二日午後一時から京城府民館大講堂で『物資戰』講演と映畫の夕を左記次第で開催する

第一部＝講演▲國民儀禮▲開會の辭—本社理事安井俊雄▲金屬回收に就て—國民總力聯盟厚生部長孫永穆▲物資戰に備へよ—物資活用協會常務青木正

第二部＝映畫▲日本ニュース▲東洋の凱歌（十二卷）▲閉會の辭—本社營業部長鈴木次男

本社第三回早朝錬成會

錬成實踐による報道陣强化を目指す本社第三回早朝錬成會は修養團主幹蓮沼門三氏の來鮮を機に卅一日早朝から實施、午前六時五十分本社各局長幹部及び編輯、業務、出版、工務、營業各局から出席の四百社員は朝鮮神宮大前に參拜、職域奉公を誓つて流汗鍛錬の驅足行進をなし、同八時から府民館中講堂で蓮沼門三氏の『大東亞戰爭と錬成』と題する講演あり

今次大東亞戰爭は日淸、日露戰役と一貫した國威伸長性をもち世界平和の爲に最終のものたらしめなければならない、自己中心の世界の構想を破つて大きな戰爭目的がある、戰後にあつては自分の心の構想を破るべきで私はこの目的から卅八年前修養錬成の團體を興して現在に至つてゐるが、決戰下の今日あらゆる階級を通じて高度な皇民錬成が要望されてをりその達成に邁進してゐる、祈りと務めの生活の中に『よりよく考へて働く』ところに神人合一の超人的な働きが生れる、よろしく全能能力を發揮して敵米英を擊つべきである

と述べ安井本社理事の挨拶をもつて同九時半閉會した

軍隊式に教育
勝尾統制會朝鮮訓練所長談

【釜山電話】綿絲統制會朝鮮訓練所長勝尾信彦少將は卅一日釜山通過『あかつき』で京城に向つたが次の如く語る

第二浦苧山里に四千二萬圓、敷地一萬五千坪の紡織關係勞務員訓練所が新設され殆ど完成をみた、この訓練所所長として赴任するのだが訓練方針としては軍隊式をとり精神訓練に重點を置くと共に生活樣式の改善にも力を注ぎたい、副所長としてはかつて北支に勇名をはせた平川勝一中佐を迎へ以下職員は約五十名である、來る七月十六日に開所式を行ふが入所者は飽くまで初志の貫徹に邁進する氣概を持つた優良なる人物が欲しい、この點郡面における選拔當事者に嚴選をお願ひしたい

婚禮にも決戰調
府民館で洋式締出し

愛國班六月の實踐事項貯蓄强調運動の中に生活の切下げ冗費節約の實行方策が盛られ、又又府愛國班回報にはこの實踐事項を盛つて婚禮を簡素化することが掲げられてゐるが京城府では戰ふ國民として自覺を促す意圖から未だに婚禮の儀式に頭から薄物をかぶり指輪を交換する米英的な華美な風習にある半島の婚禮をこの際徹底から一掃するため府民に呼びかけると共に取り敢へず府民館の婚禮式場は洋式婚禮を今後一切受けつけぬことゝし簡素な神式一本で行くことゝなつた、これにより府社會課では既に式場の改造を行ひ禮儀の整備を急いでゐるが來月中頃には完成することとなつてをり、これと共に披露宴に關しても料理や會場の設備につき抱く冗費を節し自肅を中心に具體案を練つてゐる

八方塞りの米英
人手不足や道德頽廢

英、道德の頽廢を嘆く

英國民の道德はその窮乏と共に日々頽廢の一途を辿つてゐるが、近著のデイリ・スケツチ紙は次の如く報じてゐる

戰爭は人心を荒んだ生活に陷れる結果、宗教を忘れがちになつてゐる、英國民はこの際特に日曜の教會禮拜を怠つてはならない英國民は信仰と國家との生活を呼び戾すべきだ。祈りを忘れた國民が如何にしてこの戰に勝つことが出來よう。英國民は今日の道德が如何に惡つて來てゐるか眞劍に考へると共に正義と公正との維持に努力せねばならぬ、之がためには特に宗教々育の强化と教育者の絶大なる努力を切望する、之なくして、如何に示して叫ばうとも、英國民の精神生活は依然眠り續けるだらう

英國の人手不足

英國の郵便局窓口勤務者の一週間の勤務時間は從來四十八時間乃至五十六時間であつたが、この勤務時間を延長し今回時間外勤務をさせることになつた。これは郵便局の一般窓口勤務者の數が激少し、餘剩を軍隊の方に流用させるためといはれ、この新しい强制法によつて浮いてくる人員はロンドンだけでも數千になる上といはれる

チヤーチルの胸像に異議

チヤーチルの甥で彫刻家のクレア・シエリダンは叔父の英國宰相を英雄に祭り上げようとしてその胸像の作製をしてゐた所、漸く完成し過日除幕式を行つた。併し何日を經ずに英國王立藝術院の審査員から苦情が出『こんな作品は到底後世に殘すに忍びず』と酷評され、折角の胸像は人知れぬ間に片づけられてしまつたといはれる

李王家美術館陣列替へ

德壽宮李王家美術館では卅一日恆例の日本近代美術品總陳列替を行ひ、六月一日から一般公開することになつた、今年は同館開館十週年とし特に同館所藏の明治末期各大家の力作十二點を借受け出陳することになつた、なほ出品中異彩を放つ主なるものは次の通り

▲日本畫、楓湖筆『鬼天狗』、芳文筆『甕に金魚』▲洋畫、寺內萬次郎作『婦人像』、岡見富雄作『黑衣の女』▲彫刻、叡山三藏作『擾後前』、松浦良作『たばこ』▲工藝、淸水龜藏作『蒸菓器揃』、海野淸作『黑味銅金象嵌篋』

浦邊少佐、南方戰線に散華

【羅南電話】羅南生駒町浦邊嘉一郎氏次男浦邊少佐は南方戰線に壯烈なる戰死を遂げた旨公報があつた、同少佐は陸士卅八期生、昭和十四年少佐に昇進、十六年には部隊長として中、南支に出征、赫々たる武勳を樹て大東亞戰爭勃發と共に南方第一線に活躍してゐた、嚴父嘉一郎氏は語る

充分の御奉公も出來ずに戰死したことを殘念に思ひます、大君に捧げた子ですから思ひ殘すことはありません

山本元帥へ香奠

【咸安】郡北面慈惠里竹山部落平野仲茂外八十名は故山本元帥の靈前に捧げて下さいと三十圓五十六錢を海軍記念日の二十七日咸安署に寄託した

獻金

【洪川】斗村面自隱里維持會幹事杉山富城氏は海軍特別志願兵制實施を記念に十五圓廿三錢を國防獻金に、又瑞石面魚論里竹原相根氏は日屆賃を節約して二圓をそれぞれ洪川署に寄託してきた

艦造れ！
使命果して從容沈み行く艦の最後を見届ける時間の、乘組將兵の氣持を察する時、誰がすつさしてゐられようか。艦だ！艦だ！貯金だ！
赤玉ポートワイン本舖　株式會社壽屋

クローバー
高級口紅　ホゝ紅

けふの市況（卅一日）

株式　保合　戰金買指値

前場　戰局はつねに全局から判斷せねばならない、戰局には山もあれば谷もある、目前の現象に一喜一憂する必要はない、アツツ島に上陸した極めて優勢なる敵米軍に對しわが守備部隊は血戰激鬪中のところ、つひに全員玉碎せるものと認むる旨を告げた、敵の死物狂ひの反攻が何千粁さきに於いて局部的に活潑な樣相を呈することはあり得ることである、しかしその反面われ〳〵は何千粁さきに於いて敵の心臓を突く新作戰を展開するのである、戰時金融金庫は萬が一の情勢に應じて時局重點株に對し買指値を出したが、目立つた賣物なく出來は僅少に終つた、なほ短期は鐘工新卅八圓、岩村六十二圓五十錢、新鐘七十四、五圓揚げ二圓五十錢、朝鮮機械七十七圓五十錢と全般的に保合を示した

後場　（軟調）月末當日とて整理商內が先立ち全般的に軟調を呈したが、下値は深追ひもなく大體保合の範圍の小高下に過ぎなかつた、むしろ相場の基調には變りがないだけに押目は買拾はんとする氣配が內在してゐる

『實物』閑散

新規買ひは警戒されて積極味なく場面閑散であつた、一般人氣は月替りを期待する向きが尠くなく、何れかの機會さへあれば局面展開模樣であつた

山一小池兩社合併

（東京電話）取引所新機構に即應して今回山一證券（資本金一千萬圓拂込濟）と小池證券（五百萬圓拂込濟）は双方解散のうへ兩者合併して新會社を設立することになり、この程當局の內認可を得たその合併內容は新會社の資本金一千五百萬圓拂込濟とし、社名は山一證券株式會社を踏襲、取締役會長に木下茂、取締役社長に小池厚之助氏が內定、その他の事項は六月末の兩社臨時株主總會に附議決定の筈である

投資相談
鐘デイゼの將來性

問　鐘淵デイゼルの將來性とその實態如何（府內池田生）

答　同社は來る六月廿日未拂込總額十二圓半を徵收、引續き資本金二千萬圓を六千萬圓に三倍增資することになつた、增資新株は八月末現在の株主に一對一半を割當て第一回拂込は一株につき廿五圓を徵收する、なほ擴張計畫は川口工場のほかに親會社鐘紡の二工場を買收して進められる、機械設備は既に大部分手當濟であり、しかも工場建設の手數が省けるだけに計畫の擴張、計畫は極めて圓滑に遂行される、大體今後一ケ年もすれば大規模な擴張設備が操業を開始し得ることにならう、業績は昨年上期五分配當を復活、下期も上期同樣の成績をあげて五分配當を据置いてゐる、五月末締切の今期は操業率の向上に伴ひ相當の成績進捗を豫想される、前途の增資に備へて增配は自重することにならうが、早晩一、二分程度の增配が實現することにならう（係）

株式（卅一日）

朝取短期

銘柄	前寄	引	高	安	後寄
高周波	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘工新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
岩村	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
マグネ	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝機械	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三重新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
昭和電	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝陽	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

前場大引 [illegible]

朝取算定と日步

銘柄	算定	日步	代引
鐘工新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東拓金	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝機	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小林	[illegible]	[illegible]	[illegible]
岩村	[illegible]	[illegible]	[illegible]
マグネ	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高周波	[illegible]	[illegible]	[illegible]
昭和電	[illegible]	[illegible]	[illegible]
短期	[illegible]枚	累計[illegible]枚	

大株短期

銘柄	前寄	引	高	安	後寄
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日石	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日立	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
帝人新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
商船	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三菱重	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

銘柄	前一節	二節	三節	引	後一節
神戶鋼	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
チツソ	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日紡新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
帝人	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
倉絹新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日レ	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿業	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日立新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鋼管	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日鐵	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東株短期　前場大引 [illegible]

（第一部）

銘柄	前寄	引	高	安	後寄
郵船新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三菱重工	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
帝人新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日立	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鋼管	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日石	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

（第二部）

銘柄	前寄	中	引	後寄
汽鐵	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
北炭	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
洋レ新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小倉	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
麥酒新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
塩水	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日鑛	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿業	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

前場大引 [illegible]

東株長期

銘柄	前寄	後寄
高周波	—	—

現株仲値（卅一日十一時調）

銘柄	仲値
◇鮮內株	
◇銀行株	
鮮銀	[illegible]
殖銀	[illegible]
同新	[illegible]
商銀	[illegible]
同新	[illegible]
二新	[illegible]
三新	[illegible]
貯銀	[illegible]
東一銀	[illegible]
漢銀	[illegible]
信託	[illegible]
新無盡	[illegible]
◇紡織株	
朝紡	[illegible]
同新	[illegible]
京城紡	[illegible]
朝織物	[illegible]
◇運輸株	
朝鐵	[illegible]
一新	[illegible]
二新	[illegible]
京春	[illegible]
京東	[illegible]
京南	[illegible]
朝運	[illegible]
◇電氣株	
南鮮電	[illegible]
同新	[illegible]
北鮮電	[illegible]
同新	[illegible]
漢水電	[illegible]
京電	[illegible]
同新	[illegible]
西鮮電	[illegible]
同新	[illegible]
朝水	[illegible]
同新	[illegible]
◇鑛業株	
小林鑛	[illegible]
無煙炭	[illegible]
同新	[illegible]
三陟	[illegible]
日マグ	[illegible]
製鍊	[illegible]
朝燐	[illegible]
三國	[illegible]
同新	[illegible]
朝陽	[illegible]
◇朝化工業	
高周波	[illegible]
朝工新	[illegible]
弘中	[illegible]
同新	[illegible]
朝鮮油	[illegible]
國產車	[illegible]
朝石油	[illegible]
同新	[illegible]
北鮮	[illegible]
東拓金	[illegible]
朝運研	[illegible]
◇諸株	
朝商拓	[illegible]
同新	[illegible]
東拓	[illegible]
同新	[illegible]
米市場	[illegible]
◇大陸株	
滿工廠	[illegible]
同新	[illegible]
日滿ア	[illegible]
同新	[illegible]
鞍山鋼	[illegible]
滿銅鉛	[illegible]
同新	[illegible]
滿電業	[illegible]
華北電	[illegible]
滿洲紙	[illegible]
東亞拓	[illegible]
同新	[illegible]
東亞煙	[illegible]
同新	[illegible]
北支開	[illegible]
中支開	[illegible]
大同產	[illegible]
熱河開	[illegible]
錦パル	[illegible]
◇內地株	
◇紡績株	
日東紡	[illegible]
同新	[illegible]
日華紡	[illegible]
日紡	[illegible]
◇人絹株	
倉紡	[illegible]
同新	[illegible]
日本レ	[illegible]
同新	[illegible]
帝人	[illegible]
同新	[illegible]
日毛	[illegible]
◇鑛業株	
北炭	[illegible]
同新	[illegible]
昭和鑛	[illegible]
石原產	[illegible]
同新	[illegible]
新興	[illegible]
北樺油	[illegible]
昭和新	[illegible]
帝石油	[illegible]
◇化學工業	
日窒	[illegible]
同新	[illegible]
日化	[illegible]
同新	[illegible]
昭電	[illegible]
同新	[illegible]
日曹	[illegible]
同新	[illegible]
◇重工業	
大同鋼	[illegible]
同新	[illegible]
小倉鋼	[illegible]
同新	[illegible]
ニッケ	[illegible]
神鋼	[illegible]
同新	[illegible]
昭和電	[illegible]
同新	[illegible]
日立	[illegible]
日輕金	[illegible]
同新	[illegible]
石井鐵	[illegible]
同新	[illegible]
新潟鐵	[illegible]
同新	[illegible]
池貝鐵	[illegible]
製鋼	[illegible]
昭和飛	[illegible]
同新	[illegible]
ディゼ	[illegible]
同新	[illegible]
東洋ベ	[illegible]
日ビス	[illegible]
◇船舶造船	
滿洲船	[illegible]
東洋船	[illegible]
川崎重	[illegible]
同新	[illegible]
川南	[illegible]
同新	[illegible]
石川島	[illegible]
同新	[illegible]
二新	[illegible]
三新	[illegible]
◇製糖株	
台灣糖	[illegible]
同新	[illegible]
明水	[illegible]
同新	[illegible]
◇電氣瓦斯	
東電燈	[illegible]
同新	[illegible]
關東電	[illegible]
關西電	[illegible]
◇製紙製粉	
王子紙	[illegible]
日粉	[illegible]
同新	[illegible]
日本粉	[illegible]
同新	[illegible]
◇諸株	
三菱商	[illegible]
同新	[illegible]
鐘賀	[illegible]
同新	[illegible]
捕鯨	[illegible]

後三國志（159）
吉川英治（作）　矢野橋村（繪）

二度祁山に出づ（二）

ひとまづ陣容をあらためて自軍してゐると、孔明の危惧は、果して中つてゐた。——以後、刻々來る報は、悉く、事態の惡化を傳へるものでないものはない。

そのうちに、さきに出向いた蜀勢は、さん〴〵な姿となつて逃げ歸つて來た。——そして各々、將もだゞならず傳へることには、

『わが大將雷銅も、敵の王雙に斬つて落され、二陣に續いて行つた張嶷も、王雙のために一刀兩斷にされました。——魏の王雙は武勇は拔群で、とても當り得る者はありません』

孔明は大いに驚いて、

『猶豫はならず、彼の軍と、城中の兵力との聯絡が成らば、わが大事は去らむ』

と圖れ、王平、張嶷に命じて、更に新手の軍勢をさし向けた

その間にも、陳倉の一城を救ふべく、大擧急いで來た魏の援軍は、猛勇王雙を先鋒として、折から嚴冬の烈風も、懸路山嶮も、ものかは、晝夜、道をいそいで、刻々急行軍を續けつゝあつた。

それを通さじと、防ぎに馳せ向つた蜀軍は、第一回にまづ蹴散らされ、第二回に衝突した廖化、王平などの軍勢も、殆ど惡戰の前に手を以て戸を立て並べるが如き脆さでしかなかつた。

亂軍中、又しても、蜀將張嶷は魏の王雙に追ひかけられ、彼が揮ろところの重さ六十斤と云ふ大刀を頭上に見——あやふく逃げんとした背中へ、忽ち、流星鎚を叩きつけられたのである。

流星鎚といふのは、重い鐵丸を鎖につけた一種の分銅なのだつた王雙はこれを肌身に數個持つてゐて、こゝと思ふとき、突然、敵に投げつけるのだつた。

王平、廖化は、張嶷の身を救ひ出して退却したが、張嶷は血を吐いて、生命のほども、どうかと危ぶまれる容態だつた。

かうした有樣なので、蜀軍は戰に振はず、魏軍は勢に乘ることいよいよ逞だしい。

郝昭、前遂、王雙軍二萬の先鋒は、當るものなき勢で、すでに陳倉城に近づき、のろしを揚げて、城中の者へ、

（——援軍着いたぞ）

と、聯絡の合圖を遂げ、狩長を一掃して、城外一帶に布陣を終つた。

その陣を見るに、

蜿蜒、大小の壘を連ね、上に材木を積み、柵を結び、また斬壕をめぐらし、その堅固なこと、比類もない。

これを眺めては孔明も、手を下す術もなかつたらう。いはゆる計窮まるの日を幾日か空しく過ごした。

『丞相、ちとお氣をお晴らし遊ばしませ。餘りに拘泥するはよくありません』

『おゝ姜維か、何の慰や待つて、その詞をなすのか』

『それがしの思ふに、かゝるときは、むしろ〔離〕といふことが大事ではないかと考へられます。この大軍を擁しつゝ空しく陳倉の一城に拘泥して心まで囚はるゝこそ、まんまと敵の思ふつぼに落ちてゐるものではございますまいか』

『さうか、おゝ、離こそ——』

姜維の一言に孔明も大いに悟るところがあつた。一轉、彼は方針を更へた。

すなはち、陳倉の谷には、魏延の一軍をとゞめて、對峙の陣容を張らせ、また、近き街亭方面の要路には、王平と李恢に命じて、これを固く守らせておいて、孔明自身は、夜ひそかに陳倉を脱し、馬岱、關興、張苞などの大將をつれて遠く山家た山の間道を斜谷を越え、祁山へ出て行つたのである。

一面。——魏の長安大本營では大都督曹眞が、王雙からの捷報を聞いて、

『孔明もその第一歩から躓くやうでは、もう往年のやうな勢威もないとみゆる。戰の先は見えたぞ』

と歡ぶこと限りなく、營中勝ち色に滿ちてゐた。

ところへ、先鋒の中護軍費耀から郝昭の谷あひで、一名のうろついてゐる蜀兵を生捕つて來た。質問は、必定、蜀の間諜であらうと面前に引かせて、自身これを調べた。すると、その蜀兵は、

『自分は決して、細作（しのび）のものではありません。實は』

と、徐々、左右の人々を見まはして、

『一大事をお告げしたいのですが人のゐるところでは申し難ねます。どうか御推察くださいまし』

と、平伏して云つた。

新刊紹介

▲企劃（五月號）▲謠曲（五月號）▲文藝（五月號）▲興亞（五月號）▲多磨（五月印度問題特輯號）

第七次投資信託賣出！
この貯蓄のよさは國と共に伸びる貯蓄であることです。一口五百圓の金が、五年後には見違へる程に大きくなつて歸つて來るたのしみ。東亞の指導者としての日本の前途を考へるとき、これは信ぜざるを得ないものです。しかも年々有利な配當が得られる希望の貯蓄法です。目下第七次賣出中です至急御申込下さい。『藤本の投資信託』の詳細は說明書で御覽下さい
京城府黄金町二丁目一九九
藤本證券京城支店

188
强力　ルーベリ錠
あらゆる化膿症　急性・慢性淋病に　內服短期治療法
淋病は從來の姑息療法では殆んど其効がなく疼痛や排膿は減じても淋糸の消失は容易でない根治困難とさへ云はれる淋病も注射洗滌等を要せず家庭で短期間に治療目的を達する內服藥が發見された强力リベールが即ちそれである
本劑は二基性アミド劑と他の貴藥との相乘作用による效力の倍加と副作用の一掃に成功したもので單に淋病のみならず化膿性諸疾患に應用して驚くべき治療效果を發揮する
副睾丸炎、膀胱炎、化膿性婦人病、丹毒、癰、瘭疽、中耳炎
製造發賣元　竹村製劑所

頭をよくせよ
試驗に合格したい學生諸君や、出世したい人へ『ソノール』の頭をよくする法を、ハガキでお申込み下さい、今スグ、左記へ無代で進呈します
愛知縣矢作町五三九　昭和學會

本町入口　日本生命ウラ
皮膚泌尿　性病科
醫學博士　渡邊晋　電本八九四

有價證券
株式會社朝鮮取引所一般取引員
高橋國基商店
京城府黄金町二丁目一九九・電話本局(2)[illegible]

朝取一般取引員　有價證券現物賣買
山本源作商店
京城府明治町一丁目　電話代表②五一九一番
滿洲山源證券株式會社　奉天加茂町八號

東亞證券米豆株式會社
清算部、現物部
京城府黄金町二ノ一九九　電話代表(2)五一六一、現物部六一二三番

二十一圓五十錢買
有價證券は朝鮮取引所上場株、地方は御依託にて御送金次第上場を差上候

◎朝取新株！
端株買たし
新設朝鮮會社に改組せる同所株の端株より九株までの端株買入申候　此際の御賣却御用命を乞ふ

滋養强壯　人參精茶

食用茸の人工栽培傳授書（B6判八十頁）
おいしい茸が家庭で作れる
食用茸が、秋は勿論冬でも春でも、キメクヽと原木に生えたる人工栽培法が研究されましたのです。田舍でも、町家庭でも、自家用として作れる、又副業として有利です。『食用茸の人工栽培傳授書』は食用茸の作り方を詳しく記したものです。
食用茸を作りませう。御注文は五錢切手十五枚又は振替小爲替にて、七十五錢を左記へお送りになれば、スグお送りします。
愛知縣矢作町七五五　平松食用茸栽培所　振替名古屋一〇六四六番

淋疾にゴノファミン

京城府永樂町二丁目八十七番地
酒井婦人病院　院長　七島赤道
電話本局(2)〇〇一八番　自宅（本）三三〇二番

ワキガ
自宅療法說明書差上ます
今が一番好い時期です
治すには
お困りの方は御手紙下さい
名古屋市中村區則武町五丁目六　野村久子

月やく
とゞこうりお困りの方や御心配の人
中尾本家

高周波　再檢討
日本高周波に再檢討を要す久しき低迷の後、萬般狀態に入り今後の活躍好轉が期待さるゝ材料含み內容は御申込次第進呈
擊ちてし止まむ
朝鮮取引所一般取引員
白井取引店
京城府黄金町二ノ一九九　電話本局(2)[illegible]

田原株式店現物部
△山水發條株の妙味
同社は四百萬圓の小型會社で未だ一般的に知られてゐない。バネの製作專門でそのバネは航空機を始め各種兵器自動車などの車輛及び海上諸機械等の最も重要とする時局的重要部品の構成要素として絶對不可缺のものである。八分配當二五圓拂込六十四圓見當再增資必至　資料呈
京城黄金町二ノ一九九　電話本局代表(2)五一七〇